



アプリケーションと インフラ性能観測の基本

NRU 301

Safe Harbor

This presentation and the information herein (including any information that may be incorporated by reference) is provided for informational purposes only and should not be construed as an offer, commitment, promise or obligation on behalf of New Relic, Inc. ("New Relic") to sell securities or deliver any product, material, code, functionality, or other feature. Any information provided hereby is proprietary to New Relic and may not be replicated or disclosed without New Relic's express written permission.

Such information may contain forward-looking statements within the meaning of federal securities laws. Any statement that is not a historical fact or refers to expectations, projections, future plans, objectives, estimates, goals, or other characterizations of future events is a forward-looking statement. These forward-looking statements can often be identified as such because the context of the statement will include words such as "believes," "anticipates," "expects" or words of similar import.

Actual results may differ materially from those expressed in these forward-looking statements, which speak only as of the date hereof, and are subject to change at any time without notice. Existing and prospective investors, customers and other third parties transacting business with New Relic are cautioned not to place undue reliance on this forward-looking information. The achievement or success of the matters covered by such forward-looking statements are based on New Relic's current assumptions, expectations, and beliefs and are subject to substantial risks, uncertainties, assumptions, and changes in circumstances that may cause the actual results, performance, or achievements to differ materially from those expressed or implied in any forward-looking statement. Further information on factors that could affect such forward-looking statements is included in the filings New Relic makes with the SEC from time to time. Copies of these documents may be obtained by visiting New Relic's Investor Relations website at ir.newrelic.com or the SEC's website at www.sec.gov.

New Relic assumes no obligation and does not intend to update these forward-looking statements, except as required by law. New Relic makes no warranties, expressed or implied, in this presentation or otherwise, with respect to the information provided.

自己紹介

那須 隆(なす たかし)

略歴

6年半	ネットワークエンジニア
7年半	SAPシステム運用コンサルタント
5年半	インフラエンジニア
	2019-2020 AWS APN Ambassador
現在	New Relic ソリューションコンサルタント

主な経験

- ネットワークの設計・構築・運用
- 各種システムのAWSへの移行及びその後の運用
- モバイルアプリのバックエンド開発及び運用



本日のゴール

- 近年のアプリケーションに必要と言われている可観測性についての理解を深める
- New Relicを使って簡単に可観測性を実現する方法を知る
- アプリケーションのエラーやパフォーマンス問題に対し、迅速に対処する方法を知る
- サーバーからアプリケーションまでの統合的なパフォーマンス解析を理解する
- 狼少年とならない適切なアラート設定を検討する

アジェンダ(目安)

15:00 - 15:10	New Relic APMの紹介とハンズオン環境のご案内
15:10 - 15:35	ハンズオン(1): アプリケーションパフォーマンスの測定
15:35 - 15:40	New Relic Infrastructure の紹介とハンズオン環境のご案内
15:40 - 16:05	ハンズオン(2): アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス
16:05 - 16:10	ダッシュボード・アラートのご紹介とハンズオン環境のご案内
16:10 - 16:50	ハンズオン(3): 有意義なアラート設定
16:50 - 17:00	まとめ、アンケートご記入

New Relic APM

-アプリケーションの可視化-

New Relic APM



New Relicの全機能を利用可能

より良いソフトウェアの開発と実行

New Relic.
APM[™]

アプリケーション性能モニタリング
8言語と70を超えるフレームワークに対応

New Relic.
BROWSER[™]

ブラウザ体験モニタリング
ユーザー目線でページロードやエラーを把握

New Relic.
MOBILE[™]

モバイル環境をモニタリング
iOSとAndroidアプリに対応

New Relic.
SYNTHETICS[™]

外形モニタリング
世界複数拠点からの外形監視



バックエンド /
インフラ

New Relic.
INFRASTRUCTURE[™]

あらゆるインフラ環境をモニタリング
パブリッククラウドとオンプレミス

New Relic.

Logs

ログ収集と高速検索
MELT を高速収集し検索可能に



収集 / 分析

New Relic.
ONE[™] (TDPで利用可能)

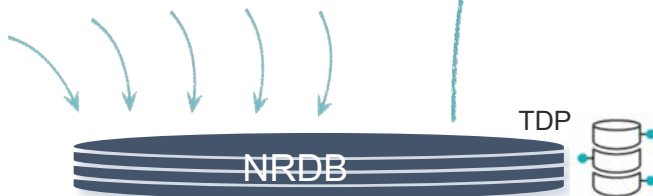
ダッシュボード開発 / チャートビルダーで
分析を超高速化し、あらゆるテレメトリ
データの可視化を実現



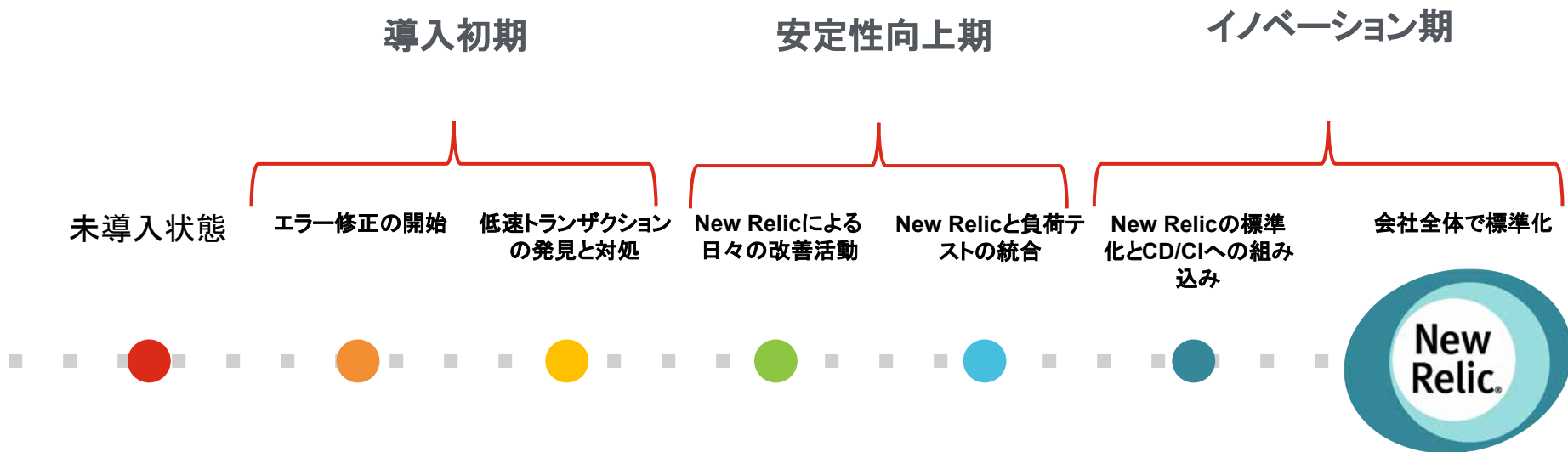
Perfect
Software

顧客体験の改善

複雑かつ大規模システムの管理



New Relicの導入ステージ

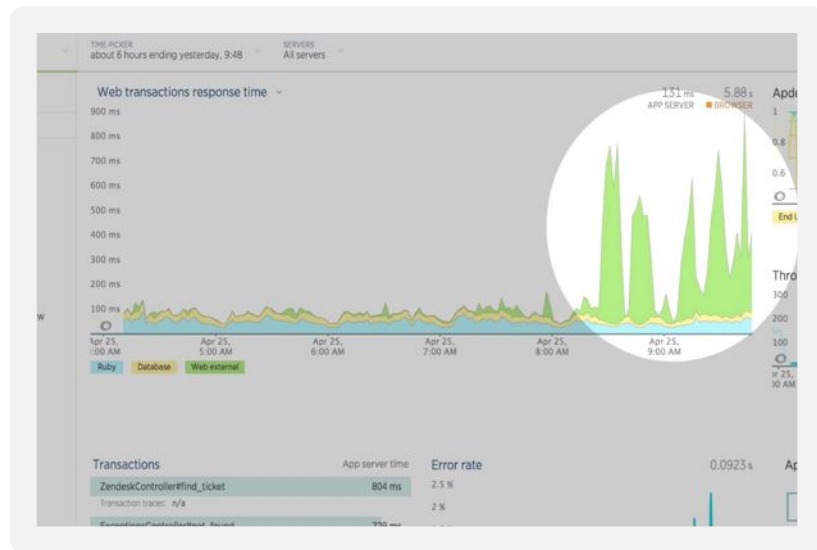




There are no violations in progress right now.

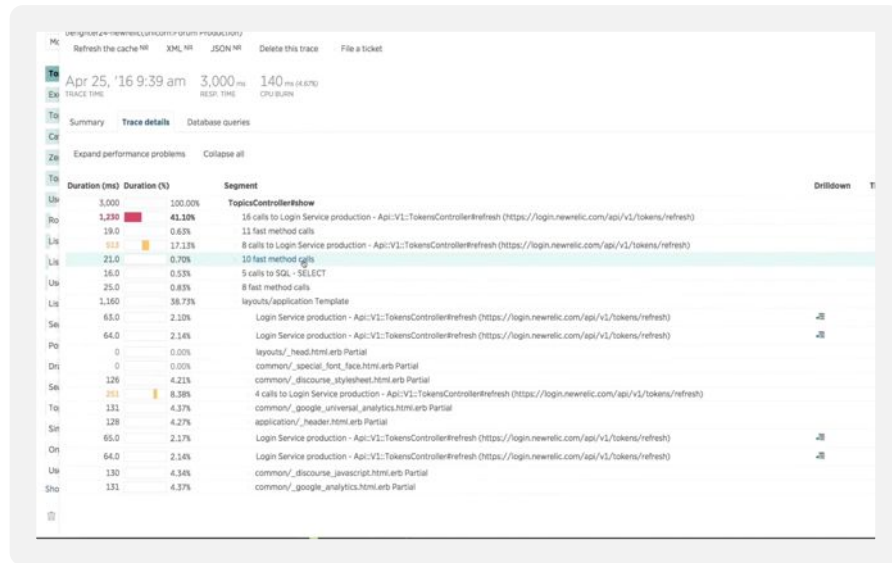
[illegible]

パフォーマンスの最適化

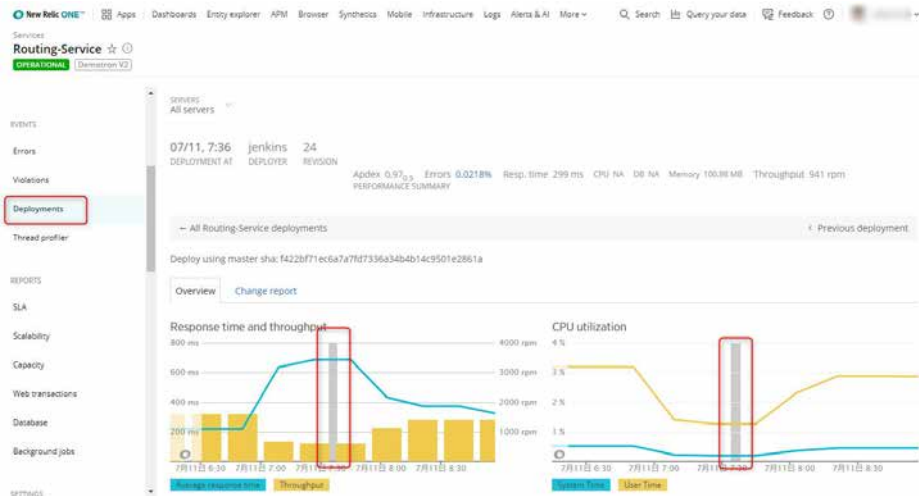


パフォーマンスの劣化を発見

ボトルネックとなっている場所をコードレベルで解析

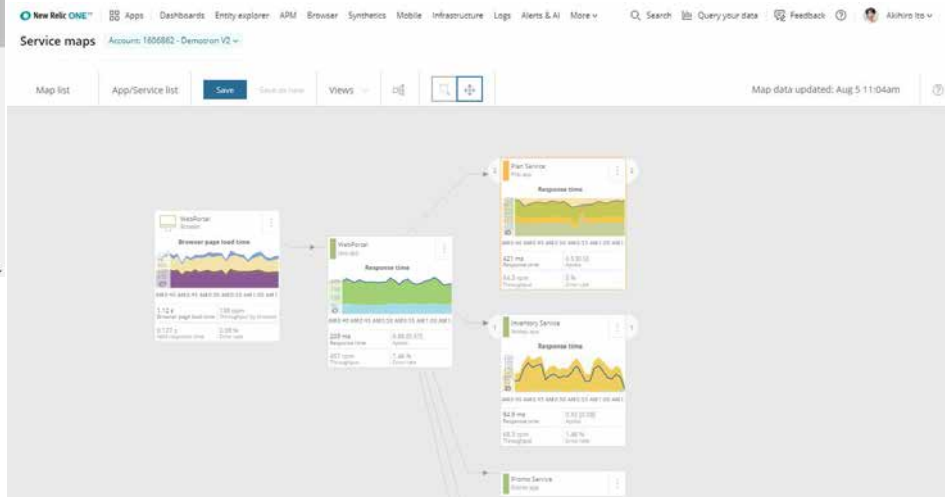


イノベーションの促進



リリース前後のパフォーマンスを比較

マイクロサービス化されていても、依存関係を把握しながら分析が可能



ハンズオン(1)

アプリケーションパフォーマンスの測定

ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

[準備]

New Relicにログインしてください。

<https://login.newrelic.com/login>

ユーザー: japan-handson+2021@newrelic.com

パスワード: oSz6nrupas

(オー、エス、ゼット、ロク、エヌ、アール、ユー、ピー、エー、エス)

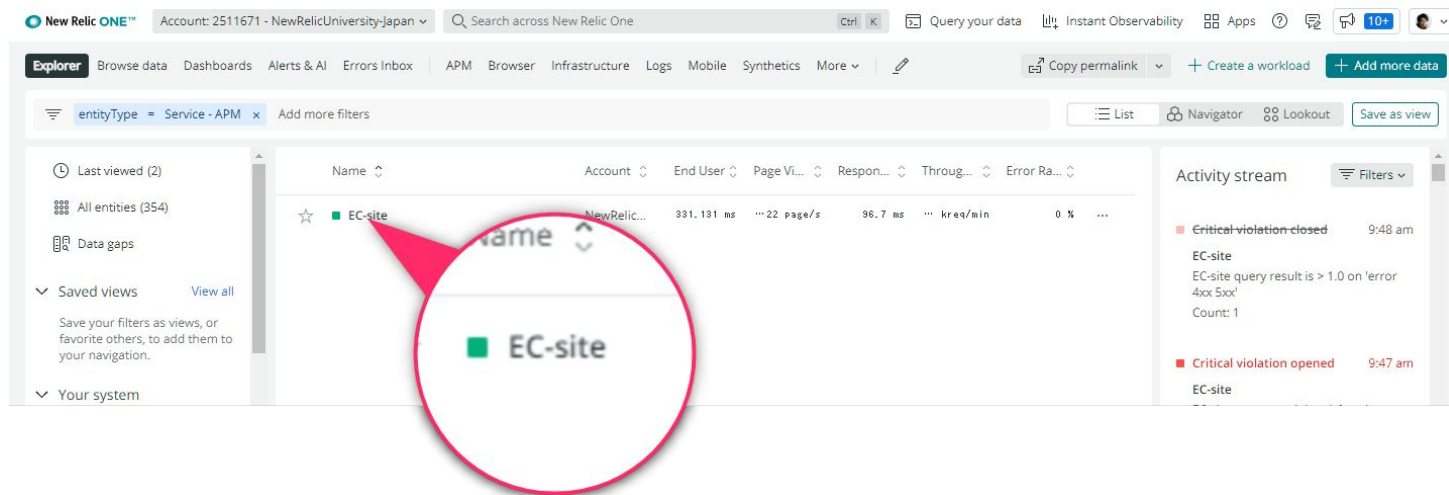
※普段New Relicをお使いの方はセッションが残っている場合がありますのでプライベートブラウジングをお使いください。

- Chrome: シークレットウィンドウ
- Firefox: プライベートウィンドウ
- Edge: InPrivate ウィンドウ
- IE: New Relicの一部機能はIEをサポートしていません。上記のいずれかのブラウザをご利用ください。

ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

[準備]

ログイン後、自動的にAPMのメニューが表示されます。
以下のアプリケーションが見えればログイン成功です。



ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

[アプリケーション概要]

このハンズオンでは、PHPおよびMySQLにより構築されたジェラート屋さんの ECサイトを
モニタリング対象にしています。

<http://ec2-3-113-215-132.ap-northeast-1.compute.amazonaws.com/ec-cube/index.php/>

NRU

新入荷 ジェラート アイスサンド



ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

アプリケーション "EC-site" を選択し、以下の手順でアプリケーションの稼働状況を確認してください。

1. 時間の設定

データの表示期間を、過去 24 時間に設定してください。

2. パフォーマンスの確認

トランザクション内で最も時間が費やされているのは PHP, MySQL, 外部APIのうちどの処理レイヤーでしょうか。

応答時間をヒストグラムで表示してください。最も分布として多い応答時間はどのレンジでしょうか。

ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

“Transaction”メニューから、トランザクション毎の分析メニューを選択してください。

3. もっとも遅いTransactionは何ですか？

Transactionが発行しているSQLを確認してください。

4. リリース前後のパフォーマンスを比較（オプション）

“Deployment”メニューより、最新のリリースがいつ実施されたかを確認してください。

最新のリリース前後のパフォーマンス比較をしてください。このリリースが原因と考えられるトラブルは発生しているでしょうか。

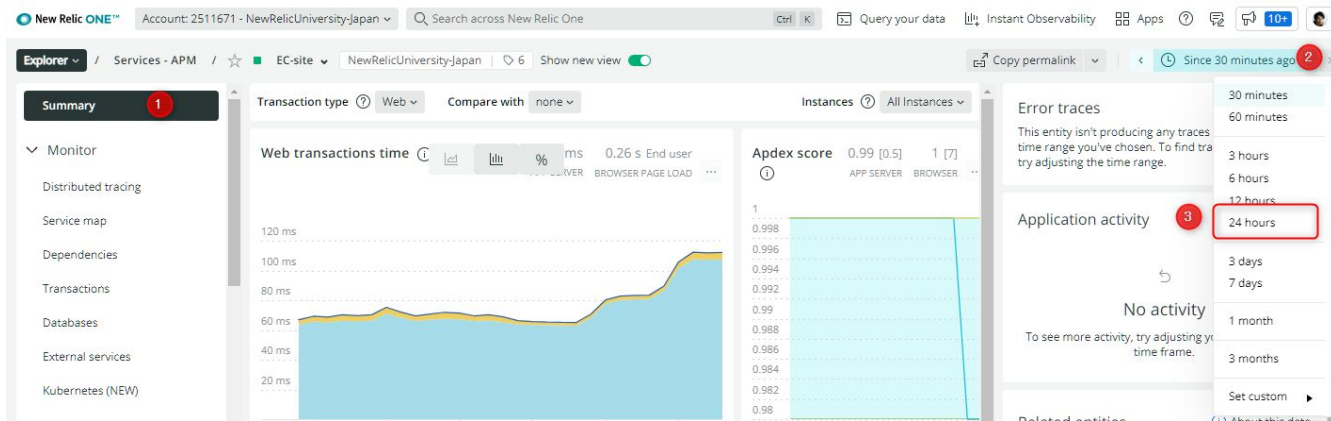
手順・解説

ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

アプリケーション”EC-site”を選択し、以下の手順でアプリケーションの稼働状況を確認してください。

1. 時間の設定

データの表示期間を、過去 24 時間に設定してください。



Summaryページで
[24 hours] を選択します。

ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

アプリケーション”EC-site”を選択し、以下の手順でアプリケーションの稼働状況を確認してください。

2. パフォーマンスの確認

- ・ トランザクション内で最も時間が費やされているのは PHP, DB, 外部APIのうちどの処理レイヤーでしょうか。



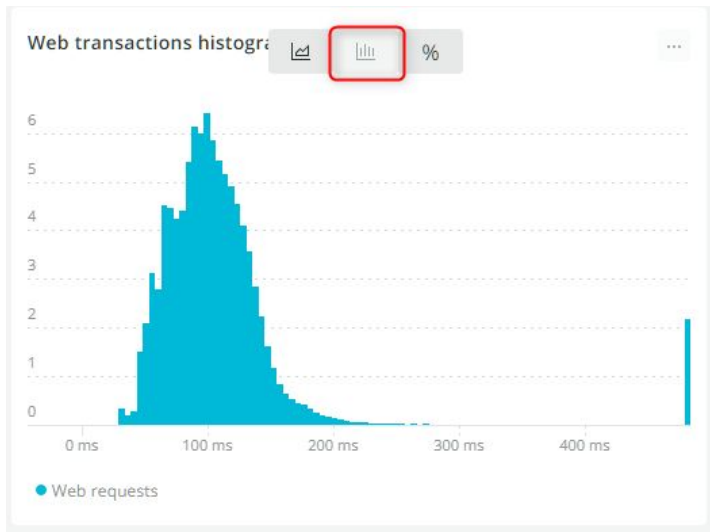
Summary>Web transactions itme では処理レイヤー毎に積層グラフとしてレスポンスタイムが表示されます。

ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

アプリケーション”EC-site”を選択し、以下の手順でアプリケーションの稼働状況を確認してください。

2. パフォーマンスの確認

- 応答時間をヒストグラムで表示してください。最も分布として多い応答時間はどのレンジでしょうか。



Summary>Web transactions itmeで
2番目のアイコンを選択するとヒストグラム表示になります。

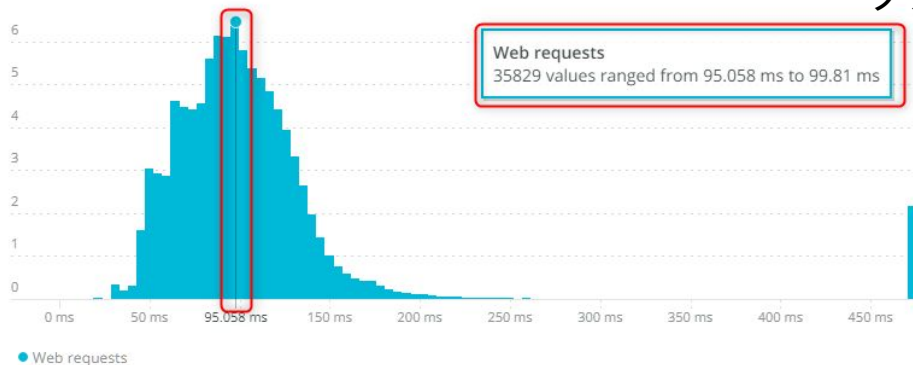
ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

アプリケーション”EC-site”を選択し、以下の手順でアプリケーションの稼働状況を確認してください。

2. パフォーマンスの確認

- 応答時間をヒストグラムで表示してください。最も分布として多い応答時間はどのレンジでしょうか。

Web transactions histogram

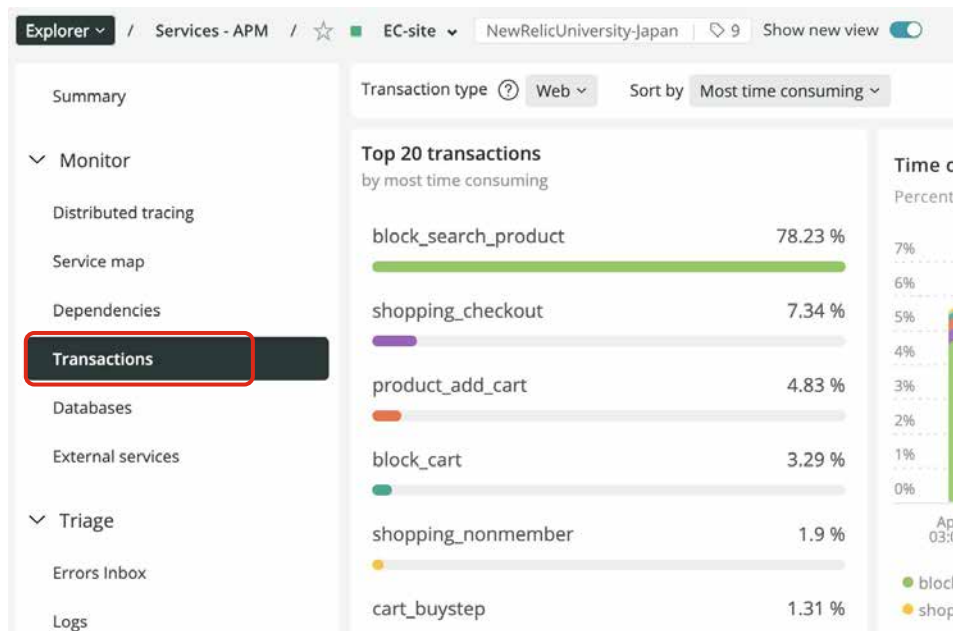


ヒストグラム表示では、応答時間の頻度毎に棒グラフが表示されます。

ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

アプリケーション”EC-site”を選択し、以下の手順でアプリケーションの稼働状況を確認してください。

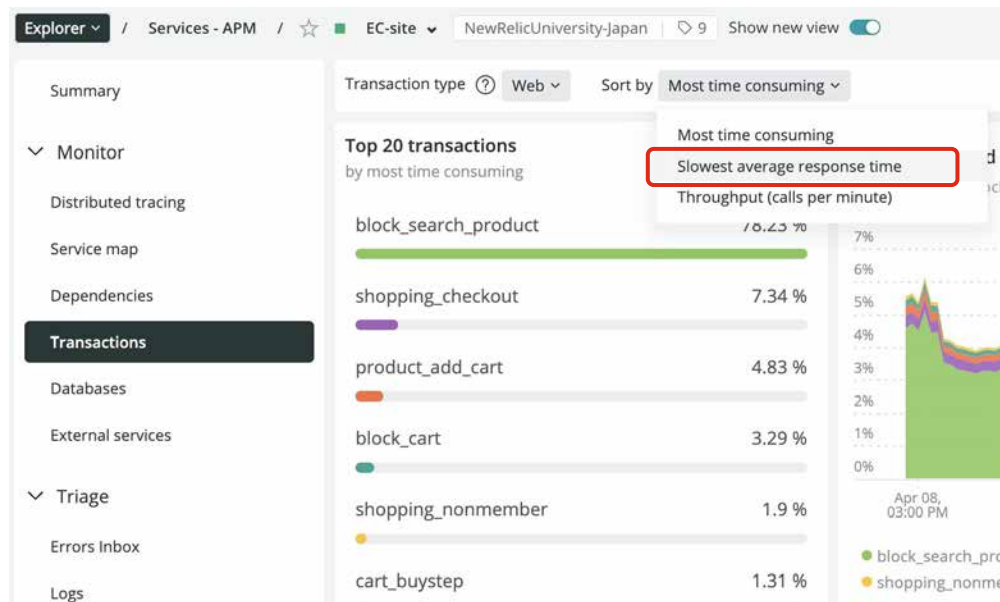
3. もっとも遅いTransaction Transactionsを開きます。



ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

アプリケーション”EC-site”を選択し、以下の手順でアプリケーションの稼働状況を確認してください。

3. **もっとも遅いTransaction**
Slowest average response time を
選択します。

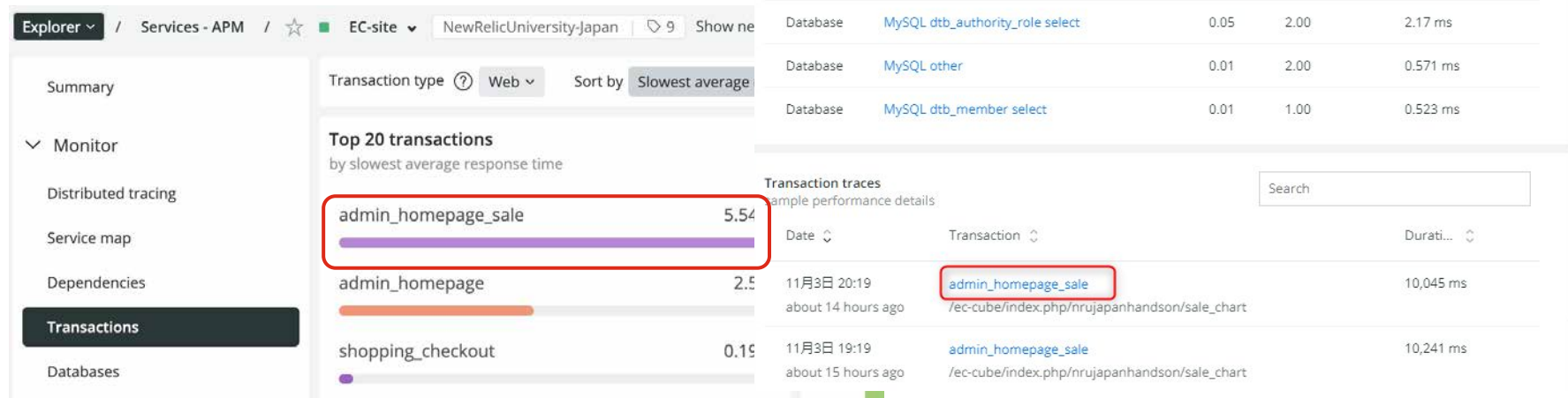


ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

アプリケーション”EC-site”を選択し、以下の手順でアプリケーションの稼働状況を確認してください。

3. もっとも遅いTransaction

Transaction名を選択しTransaction traceを選択します。

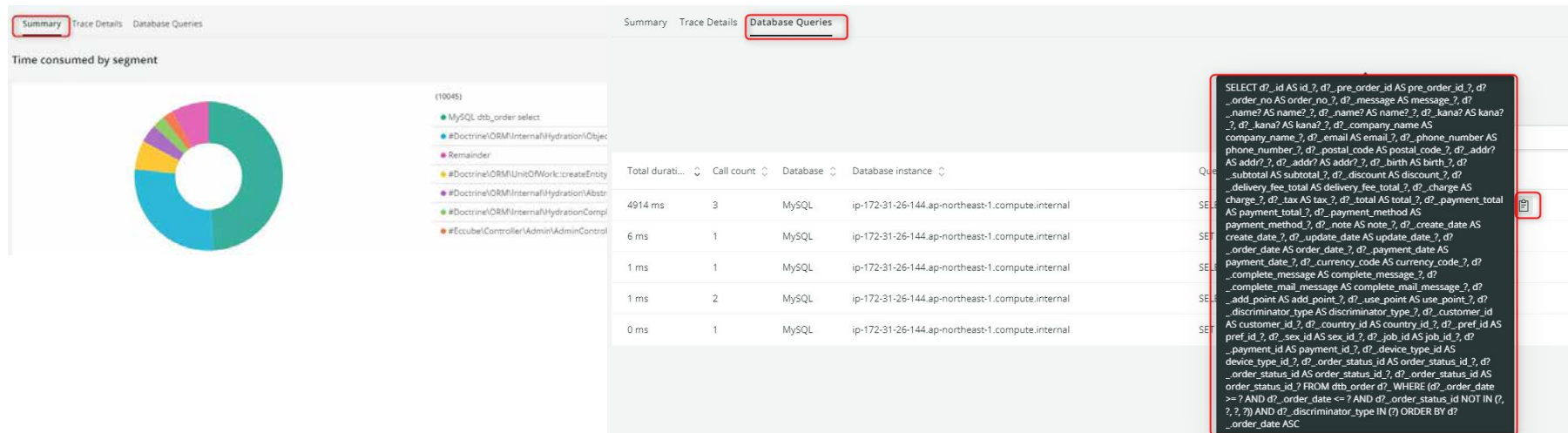


ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

アプリケーション”EC-site”を選択し、以下の手順でアプリケーションの稼働状況を確認してください。

3. もっとも遅いTransaction

時間がかかっている処理や発行された Queryを確認することができます。



ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

アプリケーション”EC-site”を選択し、以下の手順でアプリケーションの稼働状況を確認してください。

4. リリース前後のパフォーマンスを比較 (オプション)

- “Deployment”メニューより、最新のリリースがいつ実施されたかを確認してください。

The screenshot shows the New Relic APM interface. The left sidebar contains a navigation menu with items: External services, Triage (expanded), Errors Inbox, Logs, Events (expanded), Errors, Issues & Activity, Deployments (selected), and Thread profiler. The main content area is titled 'Deployments' and includes a 'Show instructions' button. Below the title, a text block explains that the feature reveals the impact of deployments on application performance. A pagination bar shows a sequence of numbers from 1 to 27, with 1 and 27 highlighted. Below this, a table displays deployment data, categorized into 'End user' and 'App server' metrics. The table has columns for Time, Deployer, Apex score, Resp. time, Throughput, Apex score, Errors, Resp. time, Throughput, and Revision. Three rows of data are shown, all for 'Systems Manager' deployments.

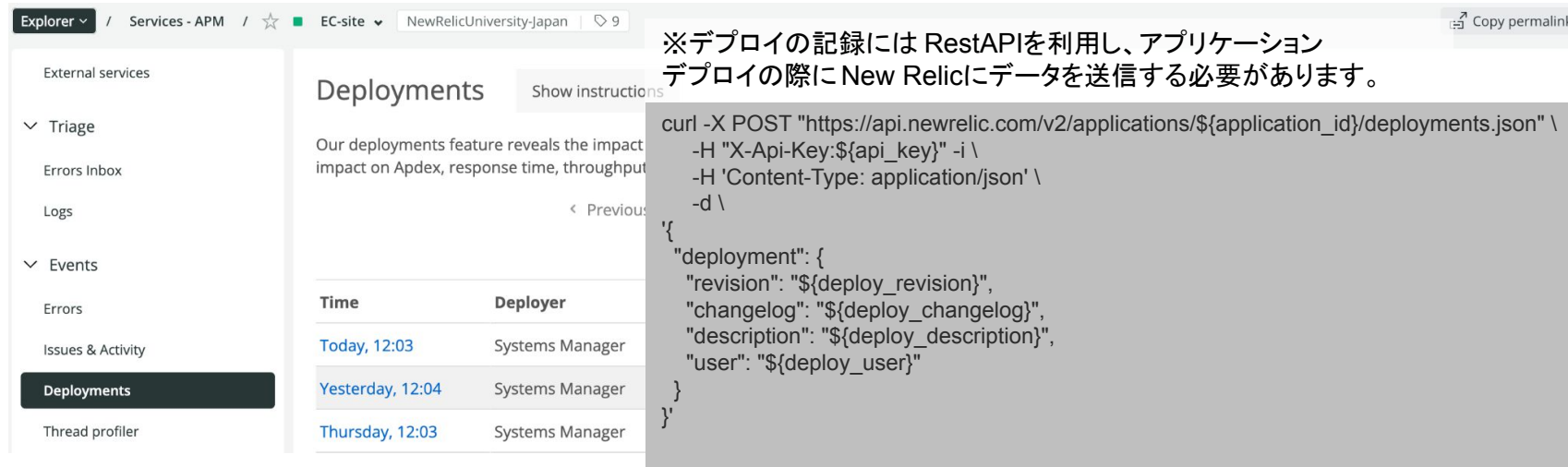
End user					App server				
Time	Deployer	Apex score	Resp. time	Throughput	Apex score	Errors	Resp. time	Throughput	Revision
Today, 12:03	Systems Manager	1.00 _{7,0}	0.238 sec	12 ppm	1.00 _{0,5}	0%	62.7 ms	39 rpm	ec-cube-4
Yesterday, 12:04	Systems Manager	1.00 _{7,0}	0.236 sec	13 ppm	1.00 _{0,5}	0.0142%	65.4 ms	39 rpm	ec-cube-4
Thursday, 12:03	Systems Manager	1.00 _{7,0}	0.24 sec	13 ppm	1.00 _{0,5}	0.0159%	65.8 ms	39 rpm	ec-cube-4

ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

アプリケーション”EC-site”を選択し、以下の手順でアプリケーションの稼働状況を確認してください。

4. リリース前後のパフォーマンスを比較 (オプション)

- “Deployment”メニューより、最新のリリースがいつ実施されたかを確認してください。



※デプロイの記録には RestAPI を利用し、アプリケーションデプロイの際に New Relic にデータを送信する必要があります。

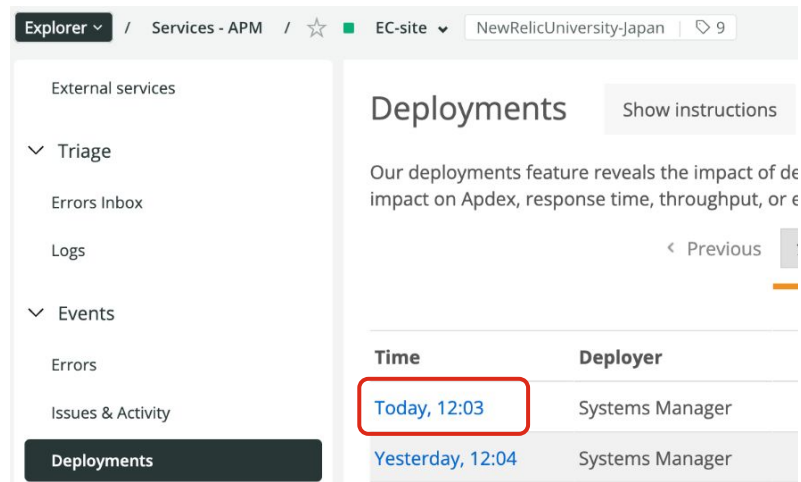
```
curl -X POST "https://api.newrelic.com/v2/applications/${application_id}/deployments.json" \
-H "X-API-Key: ${api_key}" -i \
-H 'Content-Type: application/json' \
-d '{
  "deployment": {
    "revision": "${deploy_revision}",
    "changelog": "${deploy_changelog}",
    "description": "${deploy_description}",
    "user": "${deploy_user}"
  }
}'
```

ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

アプリケーション”EC-site”を選択し、以下の手順でアプリケーションの稼働状況を確認してください。

4. リリース前後のパフォーマンスを比較 (オプション)

- 最新のリリース前後のパフォーマンス比較をしてください。このリリースが原因と考えられるトラブルは発生しているでしょうか。



Explorer / Services - APM / ☆ EC-site NewRelicUniversity-Japan 9

External services

- ▼ Triage
- Errors Inbox
- Logs
- ▼ Events
- Errors
- Issues & Activity
- Deployments**

Deployments

Show instructions

Our deployments feature reveals the impact of de
impact on Apdex, response time, throughput, or e

< Previous

Time	Deployer
Today, 12:03	Systems Manager
Yesterday, 12:04	Systems Manager

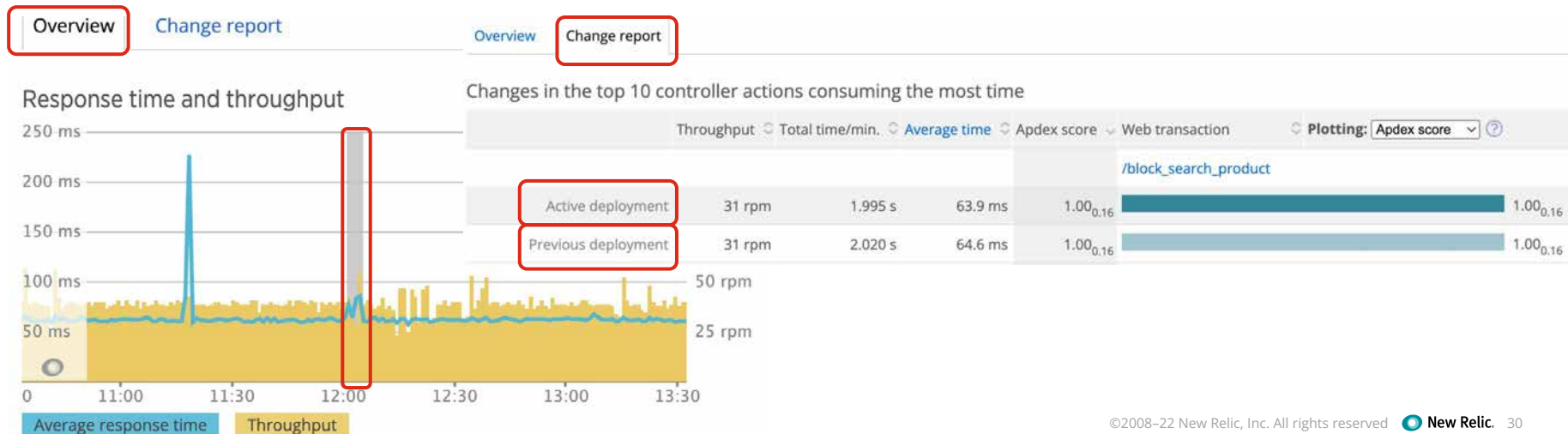
Events>Deployments のTimeリンクをクリックするとその時刻前後でのパフォーマンスが確認できます。

ハンズオン(1)アプリケーションパフォーマンスの測定

アプリケーション”EC-site”を選択し、以下の手順でアプリケーションの稼働状況を確認してください。

4. リリース前後のパフォーマンスを比較 (オプション)

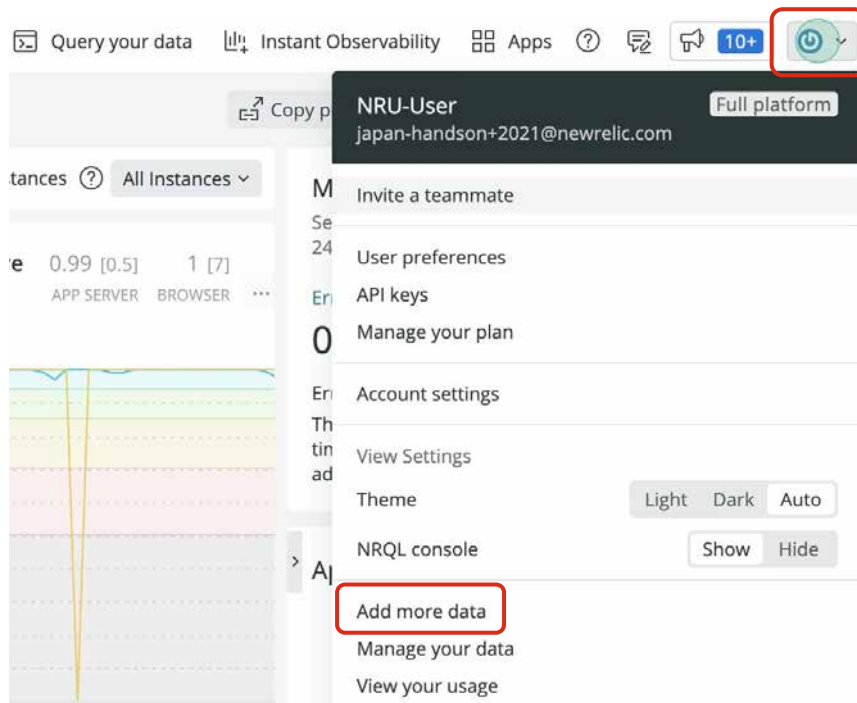
- 最新のリリース前後のパフォーマンス比較をしてください。このリリースが原因と考えられるトラブルは発生しているでしょうか。



補足 APM Agent Install

APMエージェントは各種言語のフレームワークに対して Installを行います。

「Add more」をクリックします。



補足 APM Agent Install

サポート言語アイコンが表示されますので、Agent導入対象の言語をクリックします。

Add your data

🔍 Search for where you want to collect data from

Use our guided install

With one command, you'll get infrastructure and log data flowing in so you can start observing your system. We'll also discover and recommend integrations for greater visibility into your stack.



Guided install

App monitoring

Start monitoring the performance of an application or service by installing an agent. Browser and Distributed Tracing are included when you install any of the highlighted language agents.



PHP



Java



Microsoft.NET



Node JS



Ruby



Python



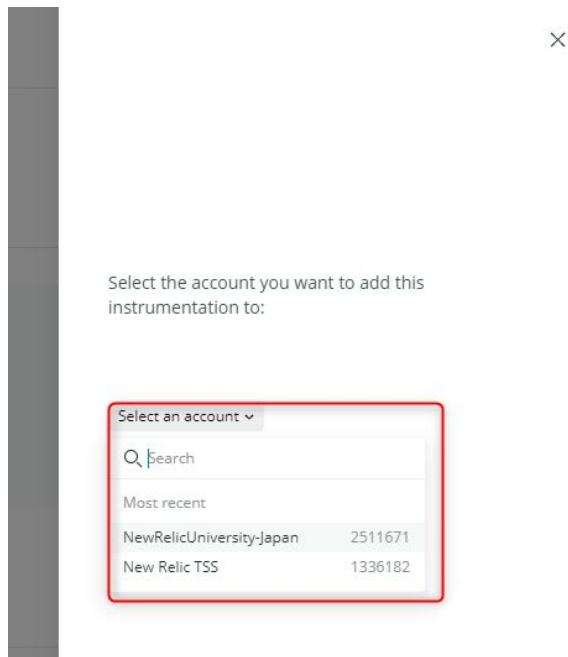
Golang



C

補足 APM Agent Install

インストール対象のアカウントを選択します。



補足 APM Agent Install

コピー＆ペーストできるインストールコマンドが表示されますので、画面の指示に従ってインストールを行います。

NewRelicUniversity-Japan

[Introduction to distributed tracing](#)
[Open instrumentation](#)

- ① Give your application a name
You'll use this to find your data later. It's important to use a unique and meaningful name. [See our docs on naming](#)
Enter a name
- ② Download your custom configuration file
This download includes your custom configuration file with license key, application name, and distributed tracing setting enabled.
[Download](#)
- ③ Download and install the agent
Download the agent:

```
curl -O https://download.newrelic.com/newrelic/java-agent/newrelic-agent/current/newrelic-java.zip
```

[Copy to clipboard](#)
Once you've downloaded the agent, follow these steps to start the Java agent installation.
 1. Create a directory for your New Relic files, such as `/opt/newrelic`. On Windows, the New Relic files must be in a subdirectory of your application server's directory, such as `C:\Program Files\Apache Software Foundation\Tomcat 8.0\newrelic`.
 2. Copy all the New Relic files from your unzipped `newrelic` directory into your new directory.
 3. Replace the `newrelic.yml` file with the custom config file you downloaded.
- ④ Get specific instructions for your Java set up
To use the Java agent with your JVM, you'll need to pass the `-javaagent` argument. Find what you're using in this list to get specific instructions. In the commands below, replace `FULL_PATH_TO` with the path of the New Relic directory you created, eg. `/opt/newrelic`.

補足 APM Agent Install

New Relic ファーストステップガイド

New Relic APM インストール手順 も参考にしてください。

New Relic Infrastructure

- アプリケーションパフォーマンスと
ホストパフォーマンス -

New Relic Infrastructure



New Relicの全機能を利用可能

より良いソフトウェアの開発と実行

New Relic
BROWSER

ブラウザ体験モニタリング
ユーザー目線でページロードやエラーを把握



フロントエンド

New Relic
MOBILE

モバイル環境をモニタリング
iOSとAndroidアプリに対応

New Relic
SYNTHETICS

外形モニタリング
世界複数拠点からの外形監視

顧客体験の改善



バックエンド /
インフラ

New Relic
APM

アプリケーション性能モニタリング
8言語と70を超えるフレームワークに対応

New Relic
INFRASTRUCTURE

あらゆるインフラ環境をモニタリング
パブリッククラウドとオンプレミス

New Relic
Logs

ログ収集と高速検索
MELT を高速収集し検索可能に



収集 / 分析

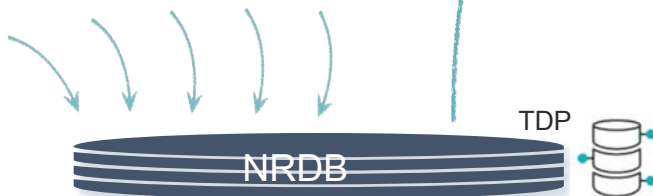
New Relic
ONE™ (TDPで利用可能)

ダッシュボード開発 / チャートビルダーで
分析を超高速化し、あらゆるテレメトリ
データの可視化を実現



Perfect
Software

複雑かつ大規模システムの管理

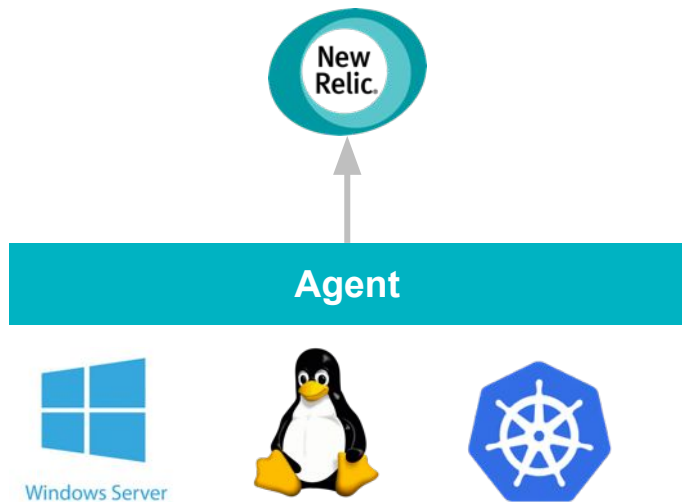


2つの導入方法: エージェントとクラウド連携

[エージェント]

対象: OS、Kubernetes

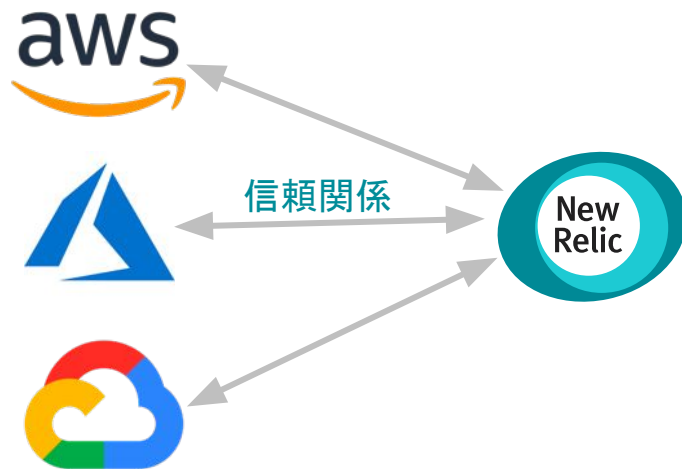
OSまたはKubernetesクラスタにエージェントを導入し、各種メトリックを取得



[クラウド連携]

対象: クラウドのマネージドサービス

クラウドとNew Relicの間に信頼関係を構成し、クラウドから各種メトリックを取得



ミドルウェアとの連携: On Host Integration

 MySQL	 Elasticsearch	 HAProxy
 Cassandra	 MSSQL	 Nagios
 NGINX	 MongoDB	 NFS
 Redis	 Couchbase	 Docker
 Apache	 PostgreSQL	 VMware Tanzu
 RabbitMQ	 F5	 VMware vSphere
 Kafka	 Memcached	 SNMP
 Oracle Database	 Varnish	 StatsD
 JMX	 Consul	

Infrastructureエージェントの追加モジュールとして提供されており、ミドルウェアのメトリックを取得可能

クラウドネイティブ環境に最適化されたUI

NAMESPACES 7

CONTROL PLANE

MASTER NODES 1

API

CONTROLLER

SCHEDULER

QUICK GUIDE

Click a node or pod on the visual to explore more details. For more filter options, click the entity types below.

NODE

POD

CRITICAL

WARNING

CPU

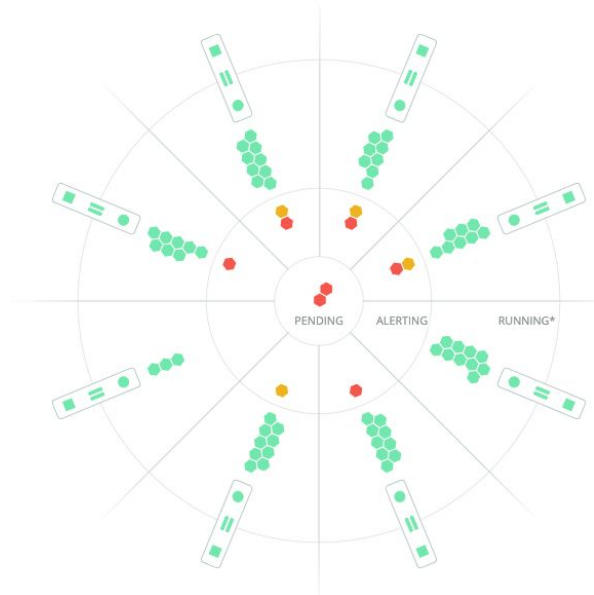
MEM(ORY)

STO(RAGE)

Visual focuses on 8 nodes from the cluster with the most critical health issues.

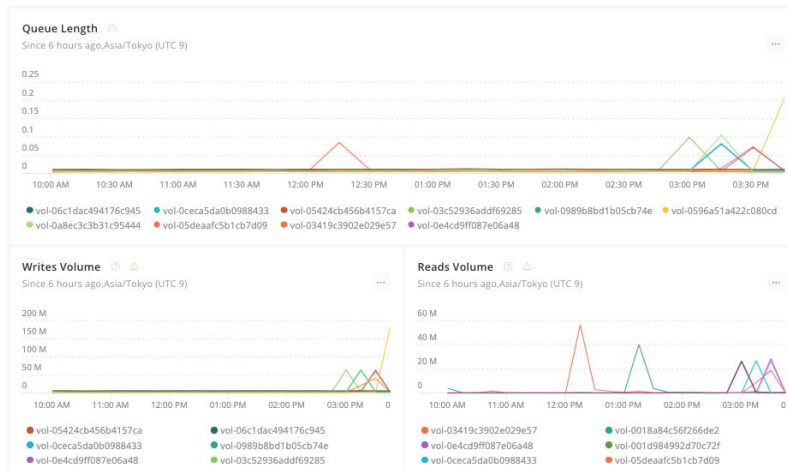
* The RUNNING section includes pods with succeeded, failed, and unavailable statuses.

Kubernetes クラスターの可視化

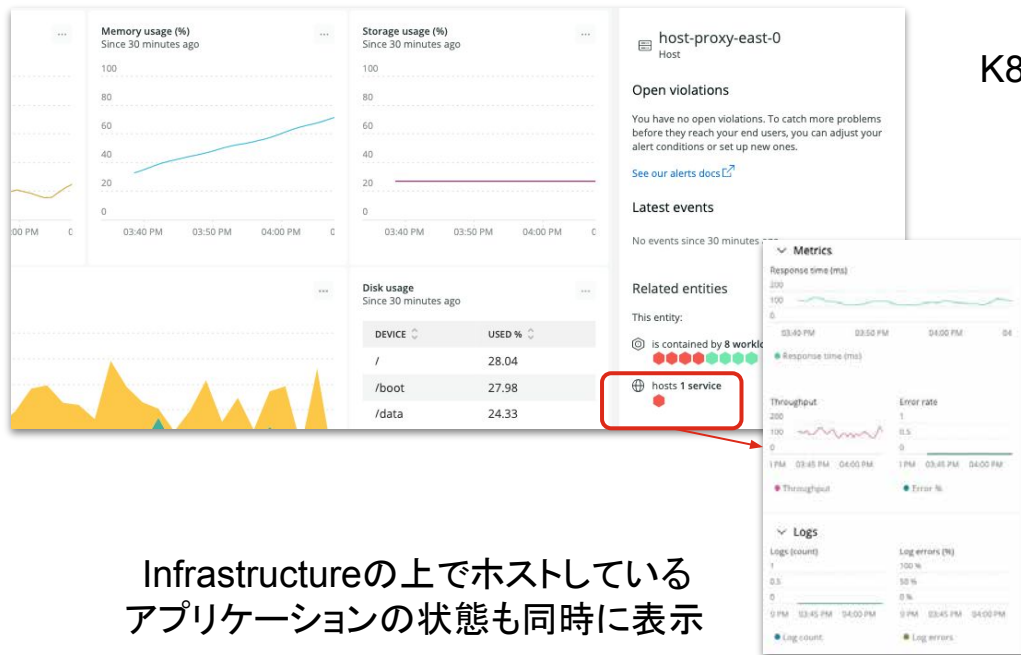


AWSマネージドサービスのパフォーマンス (EBSの例)

Amazon EBS - Telco NR Demo

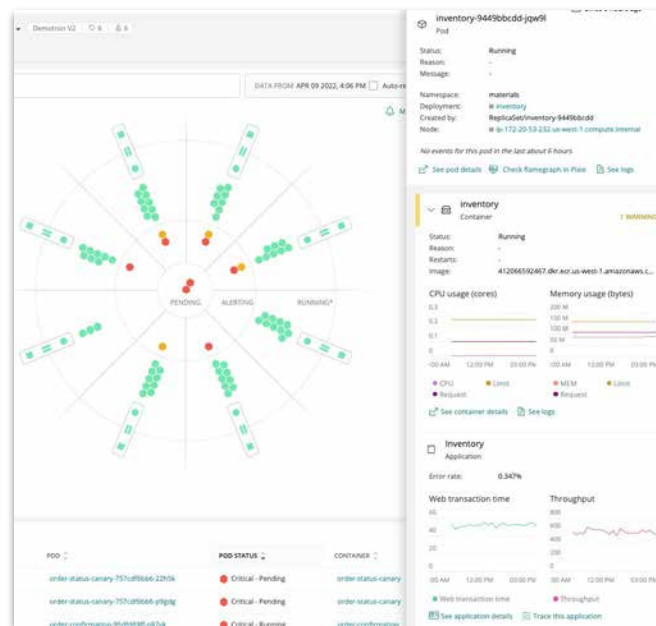


アプリケーションとインフラの相関関係も簡単に把握



Infrastructureの上でホストしている
アプリケーションの状態も同時に表示

K8sのPodを選択するとそのPod内で動いているアプリケーションの状態を表示



ハンズオン(2)

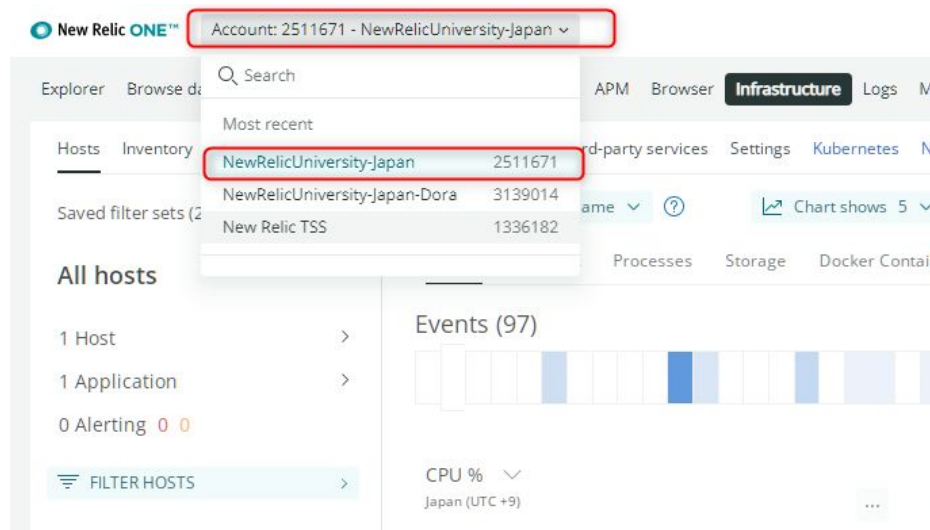
アプリケーションパフォーマンスと
ホストパフォーマンス

ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

[事前準備]

ハンズオン(1)と同じユーザーで New Relic にログインしてください。

左上のアカウント名が「New Relic TSS」と表示されている場合は [NewRelicUniversity-Japan 2511671] を選択してください。

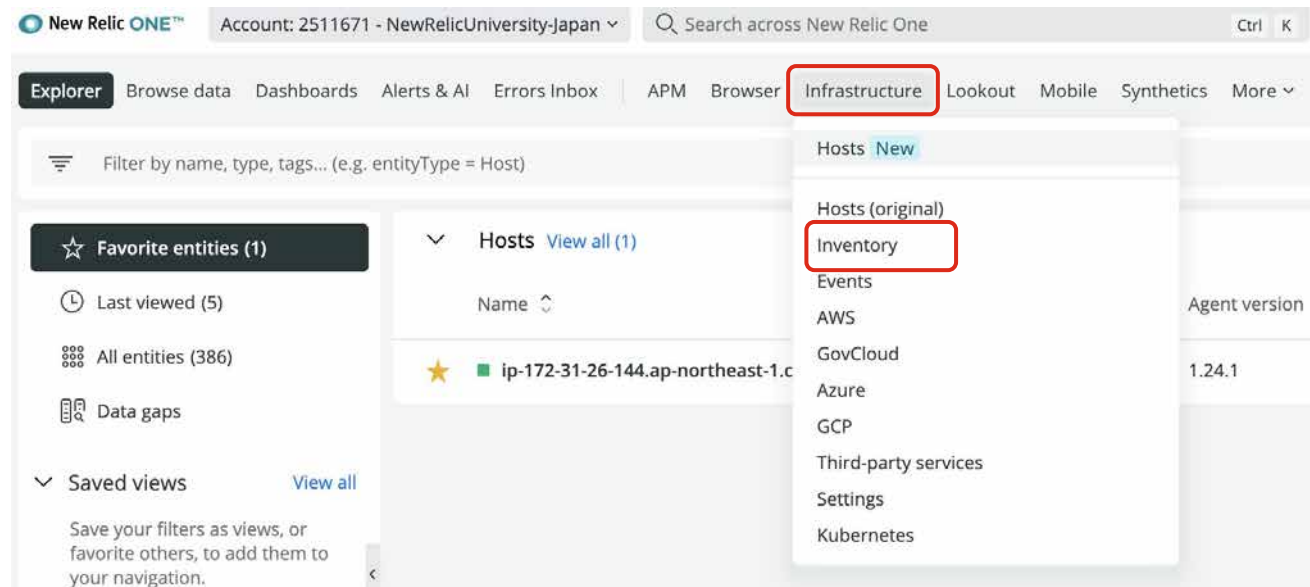


ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

[事前準備]

ハンズオン(1)と同じユーザーでNew Relicにログインしてください。

[Infrastructure]にマウスオーバーして[Inventory]をクリックします。



ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal]について以下の情報を調べてください。

1. ホスト情報の確認

ホストのOS種別を確認してください

2. パフォーマンス情報の確認

過去24時間のうちで、一番CPU負荷が高かったのはいつですか。
そのタイミングで一番CPU消費が高かったプロセスを確認してください。
このホストで動いているアプリケーションを確認してください。
そのタイミングのMySQLコネクション数を確認してください。

手順・解説

ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal] について以下の情報を調べてください。

1. ホスト情報の確認

ホストのOS種別を確認してください

The screenshot shows the New Relic Infrastructure console. The top navigation bar includes 'Infrastructure' and 'Infrastructure' tabs. Below the navigation bar, the 'Inventory' tab is selected, indicated by a red circle ①. The left sidebar shows 'All hosts' with a count of '1 Host' (marked with a red circle ②). The main content area displays the host 'ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal' (marked with a red circle ③). The host details are organized into sections: 'Metadata' and 'Applications'. The 'Metadata' section lists the following information:

Property	Value
Operating System	linux
Linux Distribution	Amazon Linux 2
Agent Version	1.24.1
Kernel Version	4.14.273-207.502.amzn2.x86_64
CPU Count	2
System Memory	2,055 MB

The 'Applications' section is currently empty, with a link to 'EC-site' below it.

Inventory> Host > からホストを選択し [V]をクリックしてホスト情報を展開します。

OS: Linux
Distribution: Amazon Linux 2

が確認できます。

ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal] について以下の情報を調べてください。

1. ホスト情報の確認

ホストのOS種別を確認してください

The screenshot shows the New Relic Infrastructure console. On the left, there's a sidebar with 'Hosts', 'Inventory', 'Events', 'AWS', 'GovCloud', 'Azure', 'GCP', 'Third-party services', 'Settings', 'Kubernetes', 'Navigator view', 'Lookout view', and 'Explorer view NEW'. The 'Inventory' tab is selected. Below it, 'Saved filter sets (2)' and 'All hosts' are listed. The 'Hosts' section shows '1 Host', '1 Application', and '0 Alerting'. The 'FILTER HOSTS' button is at the bottom. In the main area, the 'SEARCH INVENTORY' section has a search bar with 'metadata/system' entered. Below it, the 'SOURCE' section shows '1 of 1 included' and a checked checkbox for 'metadata/system (1)'. The 'variant hosts' table shows one item: 'ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal'.

variant hosts	agent_mode	agent_name	agent_version	cpu_name	cpu_num	distro	host_type	kernel_version	operating_system
ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal	root	Infrastructure	1.24.1	AMD EPYC 7571	1	Amazon Linux 2	t3a.small	4.14.273-207.502.amzn2.x86_64	linux

SEARCH INVENTORYから”metadata/system”と検索して確認することもできます。

“distro”の列が見えない場合は右スクロールしてください。

This is a zoomed-in view of the 'distro' column in the table from the previous block. The 'distro' column is highlighted with a red box, showing the value 'Amazon Linux 2' for the host 'ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal'.

variant hosts	agent_mode	agent_name	agent_version	cpu_name	cpu_num	distro	host_type	kernel_version	operating_system
ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal	root	Infrastructure	1.24.1	AMD EPYC 7571	1	Amazon Linux 2	t3a.small	4.14.273-207.502.amzn2.x86_64	linux

ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal] について以下の情報を調べてください。

2. パフォーマンス情報の確認

過去24時間のうちで、一番CPU負荷が高かったのはいつですか

そのタイミングで一番CPU消費が高かったプロセスを確認してください。

このホストで動いているアプリケーションを確認してください。

そのタイミングのMySQLコネクション数を確認してください。

The screenshot shows the New Relic Infrastructure Explorer view. The 'Explorer view' tab is selected and highlighted with a red box. The search bar contains 'metadata/system'. The results show a table with columns: variant hosts, agent_mode, agent_name, and agent_version. The table contains one row for the host ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal.

variant hosts	agent_mode	agent_name	agent_version
ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal	root	Infrastructure	1.24.1

Explorer viewをクリックしてホスト一覧ページに移ります。

ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal] について以下の情報を調べてください。

2. パフォーマンス情報の確認

過去24時間のうちで、一番CPU負荷が高かったのはいつですか

そのタイミングで一番CPU消費が高かったプロセスを確認してください。

このホストで動いているアプリケーションを確認してください。

そのタイミングのMySQLコネクション数を確認してください。

Entity type: Host x Add more filters

Favorite entities (1)
Last viewed (5)
All entities (386)
Data gaps

Saved views View all
Save your filters as views, or favorite others, to add them to your navigation.

Your system
Services - APM (2)

Hosts (1)

Entities
See all the entities reporting in the past 1 hour. You can select up to 25 to compare.

View selected (1) 2

☒	Name	CPU usage (%)	Memory usage (%)	Storage usage (%)	Network transmit tra...	Network receive
☒	ip-172-31-26-144.ap-n...	3.57 %	43.75 %	26.19 %	101 kB/s	3.35 kB/s

1

ホスト

[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal]

のチェックボックスにチェックを入れて

[View selected]を押します。

ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal] について以下の情報を調べてください。

2. パフォーマンス情報の確認

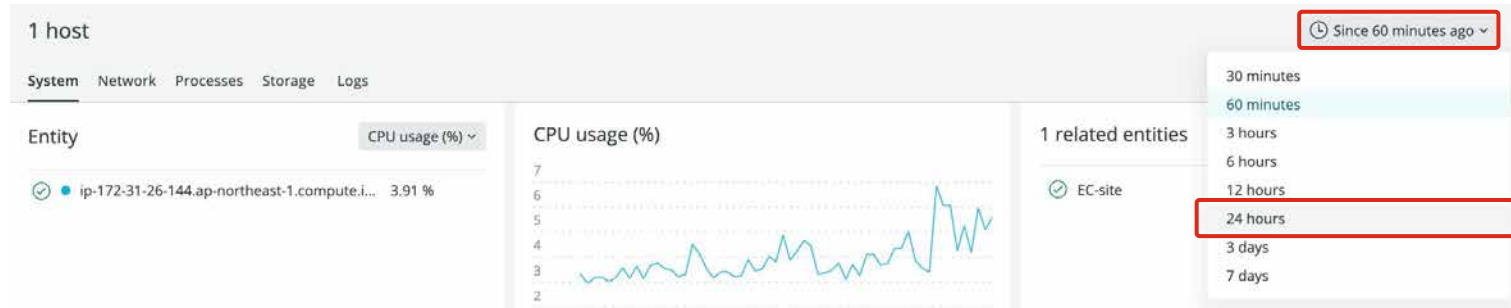
過去24時間のうちで、一番CPU負荷が高かったのはいつですか

そのタイミングで一番CPU消費が高かったプロセスを確認してください。

このホストで動いているアプリケーションを確認してください。

そのタイミングのMySQLコネクション数を確認してください。

[24 hours]を選択します。



ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal] について以下の情報を調べてください。

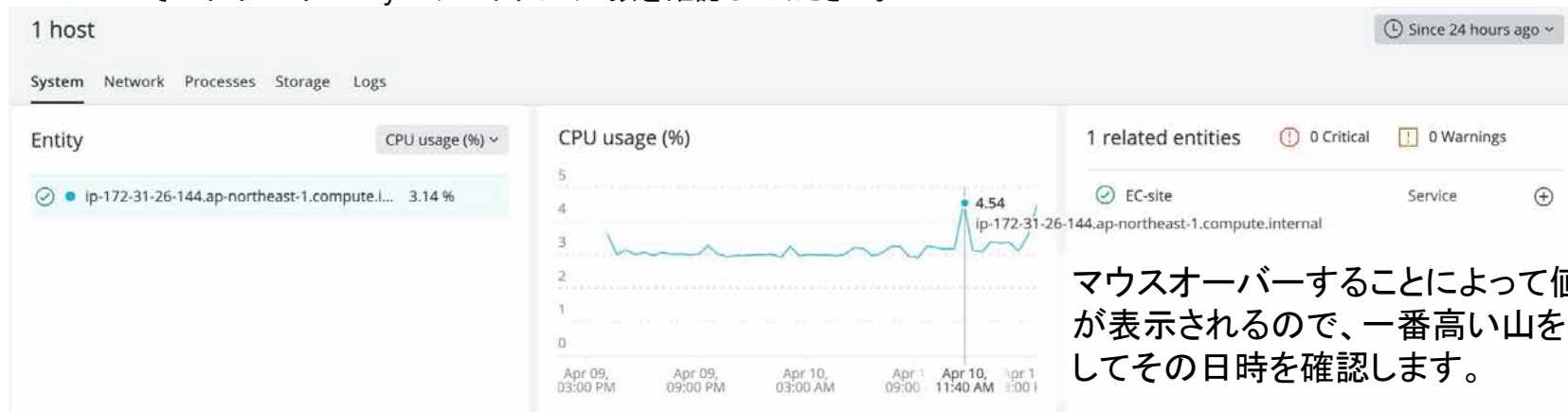
2. パフォーマンス情報の確認

過去24時間のうちで、一番CPU負荷が高かったのはいつですか

そのタイミングで一番CPU消費が高かったプロセスを確認してください。

このホストで動いているアプリケーションを確認してください。

そのタイミングのMySQLコネクション数を確認してください。

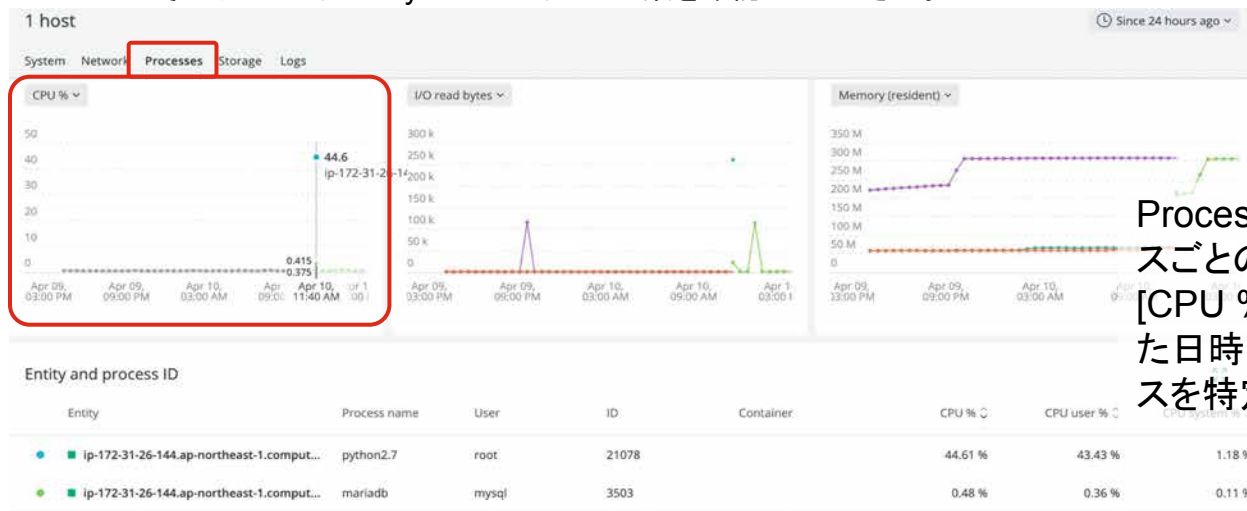


ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal] について以下の情報を調べてください。

2. パフォーマンス情報の確認

過去24時間のうちで、一番CPU負荷が高かったのはいつですか
そのタイミングで一番CPU消費が高かったプロセスを確認してください。
このホストで動いているアプリケーションを確認してください。
そのタイミングのMySQLコネクション数を確認してください。



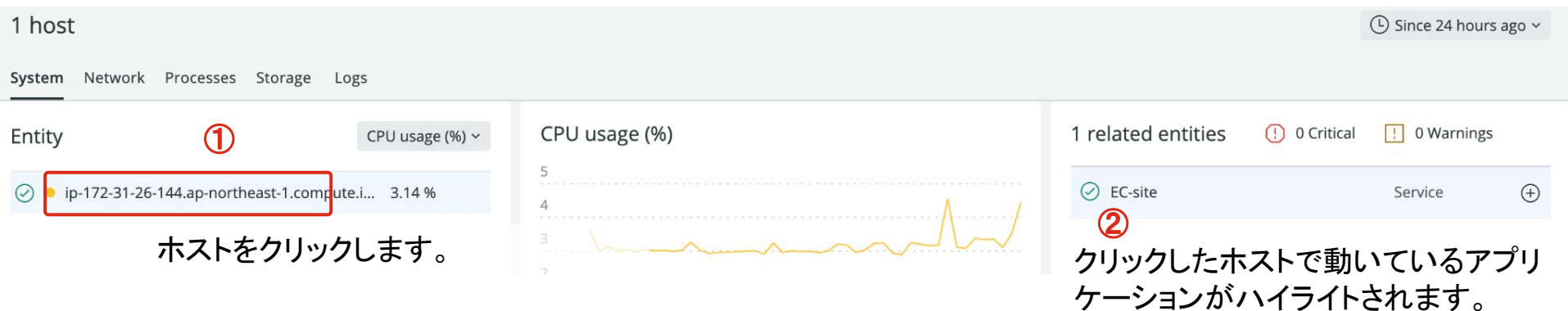
Processesタブをクリックしてプロセスごとのリソース状況を確認します。
[CPU %]のチャートで、先ほど確認した日時に一番負荷が高かったプロセスを特定します。

ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal] について以下の情報を調べてください。

2. パフォーマンス情報の確認

過去24時間のうちで、一番CPU負荷が高かったのはいつですか
そのタイミングで一番CPU消費が高かったプロセスを確認してください。
このホストで動いているアプリケーションを確認してください。
そのタイミングのMySQLコネクション数を確認してください。



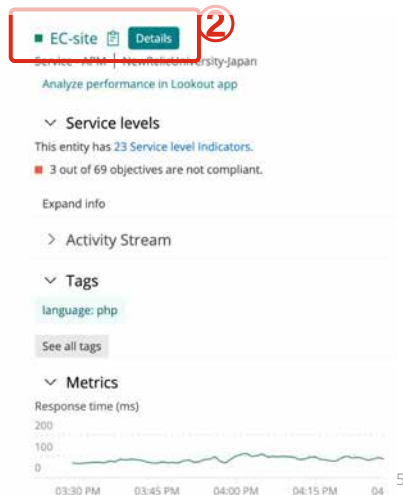
ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal] について以下の情報を調べてください。

2. パフォーマンス情報の確認

過去24時間のうちで、一番CPU負荷が高かったのはいつですか
そのタイミングで一番CPU消費が高かったプロセスを確認してください。
このホストで動いているアプリケーションを確認してください。
そのタイミングのMySQLコネクション数を確認してください。

[Details]を押すとAPMの画面に遷移してアプリケーションの分析を行うことができます。

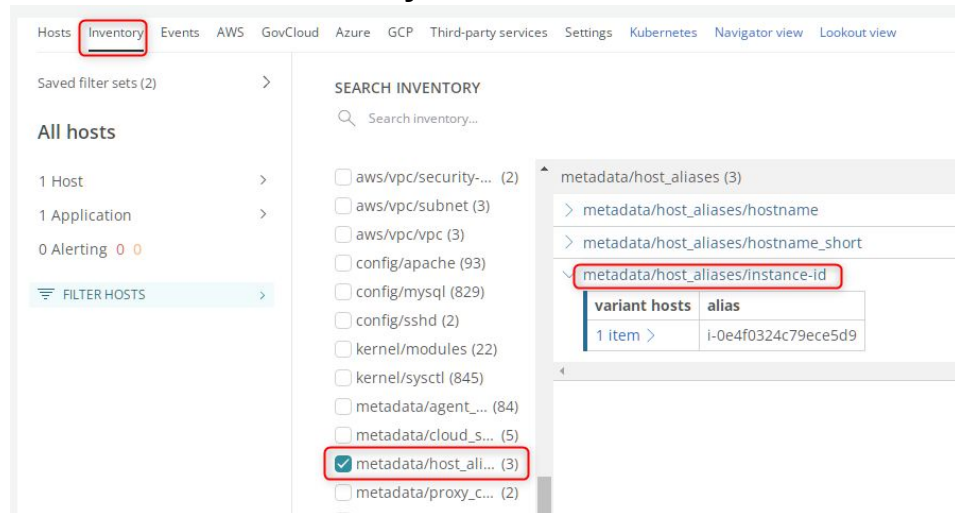


ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal] について以下の情報を調べてください。

2. パフォーマンス情報の確認

過去24時間のうちで、一番CPU負荷が高かったのはいつですか
そのタイミングで一番CPU消費が高かったプロセスを確認してください。
このホストで動いているアプリケーションを確認してください。
そのタイミングのMySQLコネクション数を確認してください。



Inventory>metadata/host_aliases から
ホストのinstance-idを確認しておきます。

ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal] について以下の情報を調べてください。

2. パフォーマンス情報の確認

過去24時間のうちで、一番CPU負荷が高かったのはいつですか
そのタイミングで一番CPU消費が高かったプロセスを確認してください。
このホストで動いているアプリケーションを確認してください。
そのタイミングのMySQLコネクション数を確認してください。

The screenshot shows the New Relic Infrastructure console. The top navigation bar includes 'Explorer', 'Browse data', 'Dashboards', 'Alerts & AI', 'Errors Inbox', 'APM', 'Browser', 'Infrastructure' (selected), 'Logs', 'Mobile', 'Synthetics', and 'More'. Below this, the 'Third-party services' tab is selected and highlighted with a red box. The main content area shows 'Active Integrations (2)'. There are two rows: 'MySQL' and 'Apache'. The 'MySQL' row has a red box around the 'MySQL dashboard' link. The 'Apache' row has links for 'Apache dashboard', 'Set alert', 'Alert API Info', and 'Apache data'. Below the active integrations, there is a section for 'Available Integrations (25)'.

INTEGRATION NAME	DASHBOARDS	CREATE ALERT	EXPLORE DATA
MySQL	MySQL dashboard	Set alert Alert API Info	MySQL data
Apache	Apache dashboard	Set alert Alert API Info	Apache data

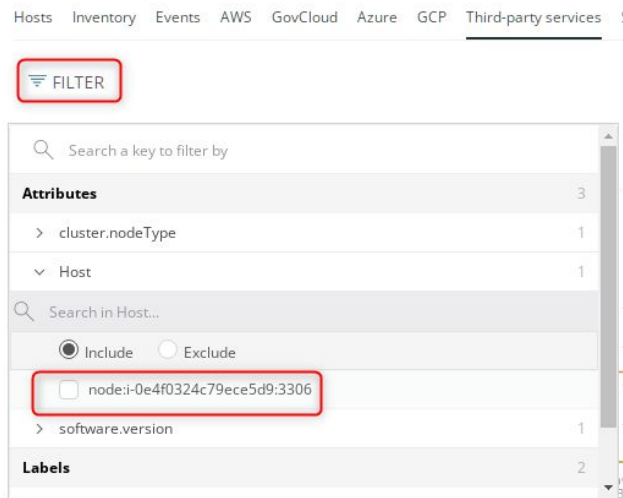
Third-party services > MySQL dashboard
を選択し、MySQLの情報を確認します。

ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal] について以下の情報を調べてください。

2. パフォーマンス情報の確認

過去24時間のうちで、一番CPU負荷が高かったのはいつですか
そのタイミングで一番CPU消費が高かったプロセスを確認してください。
このホストで動いているアプリケーションを確認してください。
そのタイミングのMySQLコネクション数を確認してください。



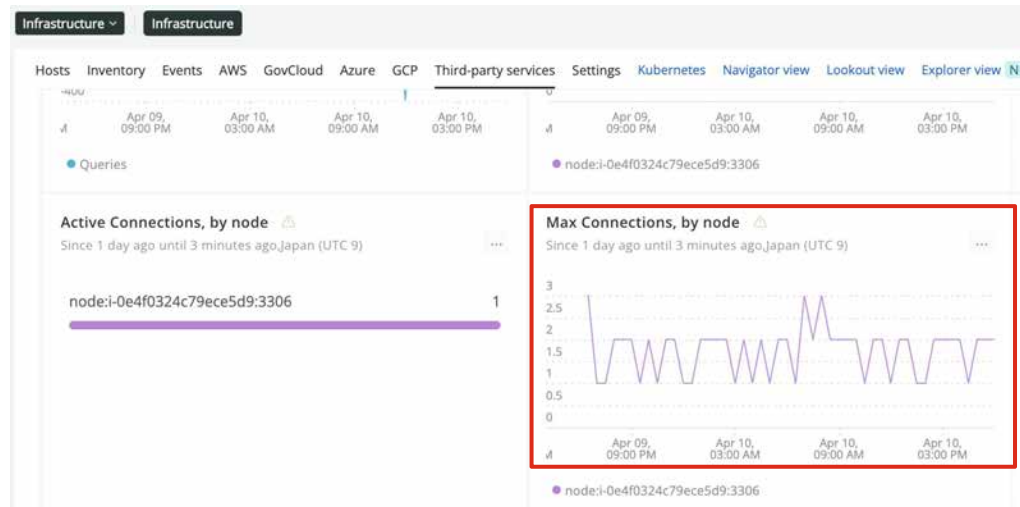
MySQLはHOST ID ではなく、nodeとして表示されるので、先ほど Inventoryで確認した instance-idでFilterします。

ハンズオン(2)アプリケーションパフォーマンスとホストパフォーマンス

ホスト[ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal] について以下の情報を調べてください。

2. パフォーマンス情報の確認

過去24時間のうちで、一番CPU負荷が高かったのはいつですか
そのタイミングで一番CPU消費が高かったプロセスを確認してください。
このホストで動いているアプリケーションを確認してください。
そのタイミングのMySQLコネクション数を確認してください。

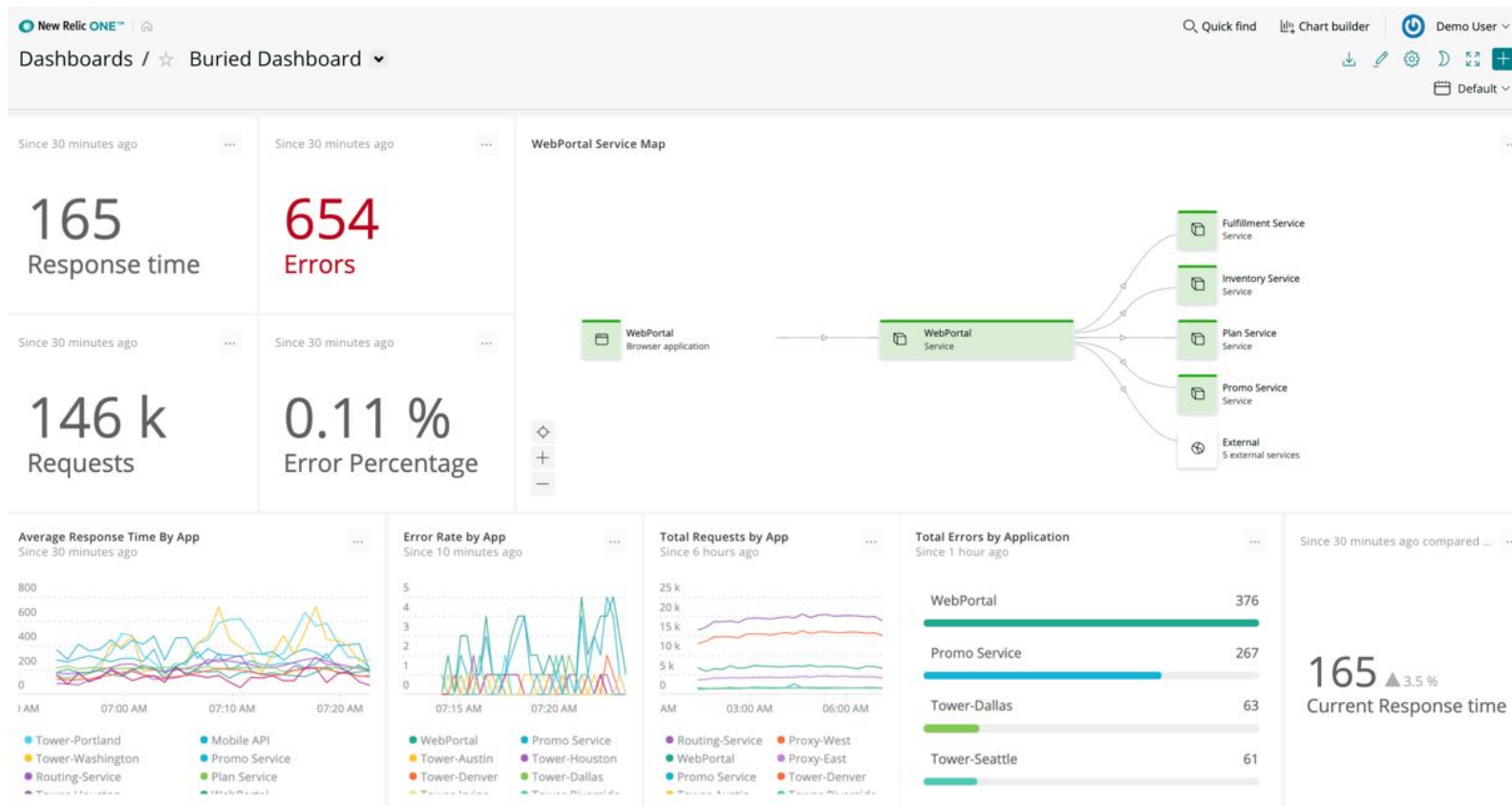


Max Connections, by node を確認することで、CPU負荷が高かったタイミングでのコネクション数を確認することができます。

ダッシュボード・アラート

- 収集したデータの活用 -

ダッシュボード機能

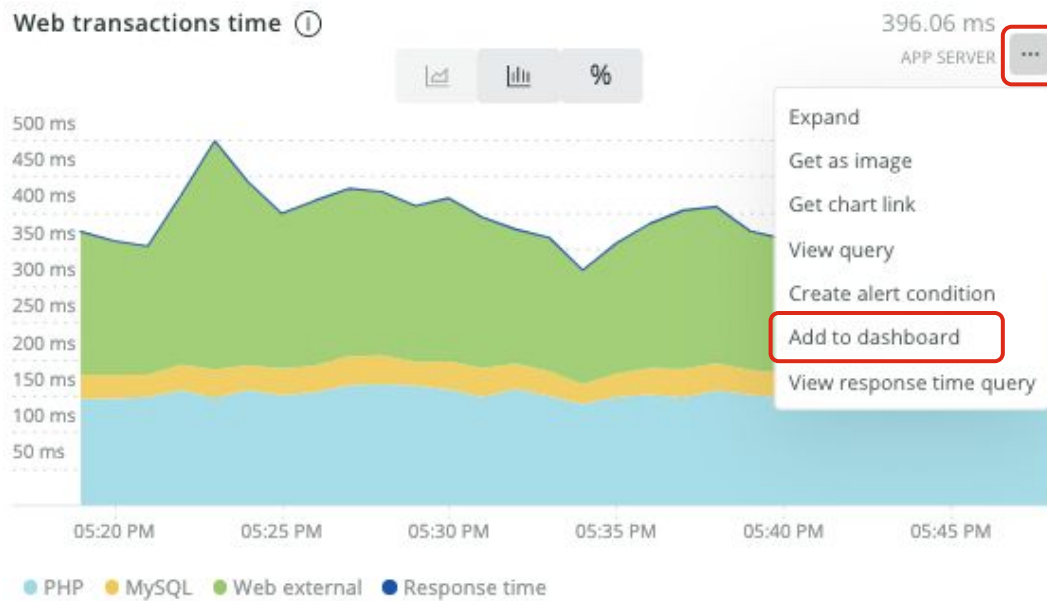


ダッシュボードを活用する場面

- 複数アプリケーションやアプリケーションとインフラのメトリックの相関関係など、様々なソースからのデータを一つの画面で把握したい場合 (データの選択と集約)
- チームで定めたKPIに対する実測値を把握したい場合 (データの加工)
- 集めたデータを目で見てわかりやすい形式で表示したい場合 (データのビジュアライズ)
- New Relicアカウントを横断的に表示する場合

①データの選択と集約

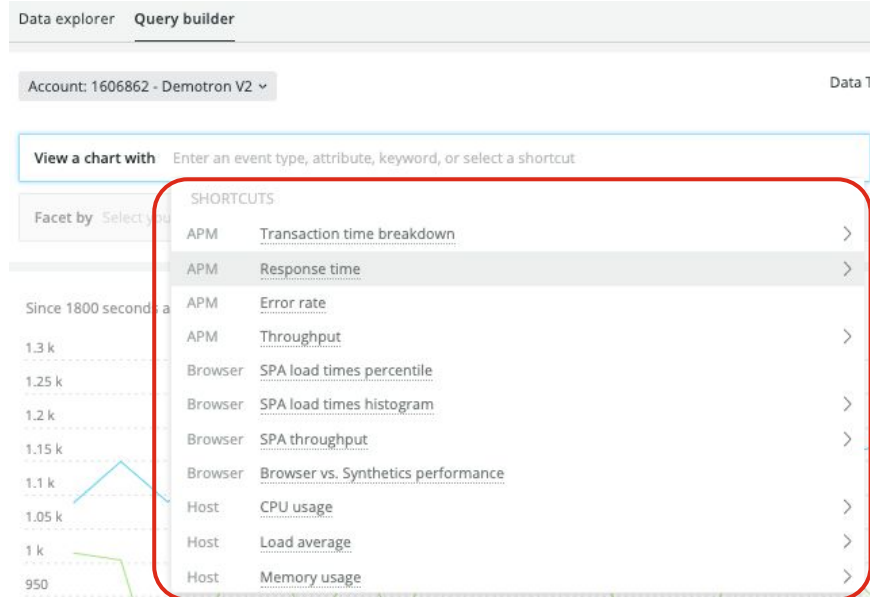
デフォルトの画面で表示されているグラフをダッシュボードに追加することで、見たい情報のみを簡単に集約することが可能



”Add to a dashboard”を押すだけ！

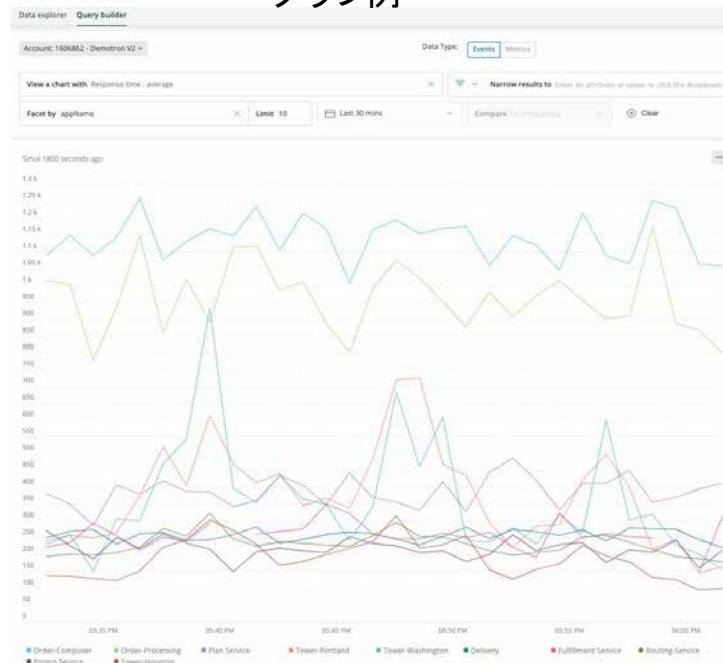
②データの加工

基本編: クエリビルダーを使い、自分で見たいデータを選択する



見たいデータをドロップダウンで選択

グラフ例



クエリビルダーの使い方

チャートに表示したいデータを選択
この例では、TransactionというEventから
durationという属性を選択し、平均値を出す

データの絞り込み (オプション)
例. 特定のアプリのデータのみを表示する

Account: 1606862 - Demotron V2

Data Type:

View a chart with Transaction : duration : average

Facet by name Limit 10

Last 30 mins

Narrow results to appName = 'Plan ...rvice'

Compare no comparison

Clear

データのグループ分け (オプション)
例. トランザクション名ごとにデータを分けて表示

表示させるデータ期間

比較のための過去の
データを重ねて表示
(オプション)

②データの加工(続き)

応用編: 自分でクエリを書いて、見たい情報をチャートに表現

- NRQLという独自の言語を使用
- チャートビルダーよりも柔軟なデータ加工が可能



NRQL構文

```
SELECT function(attribute) [AS 'label'][, ...]  
FROM event  
[WHERE attribute [comparison] [AND|OR ...]][AS 'label'][, ...]  
[FACET attribute | function(attribute)] [LIMIT number]  
[SINCE time] [UNTIL time]  
[WITH TIMEZONE timezone]  
[COMPARE WITH time]  
[TIMESERIES time]
```

参考: <https://docs.newrelic.com/docs/query-data/nrql-new-relic-query-language/getting-started/introduction-nrql>

Event名について

データ(Event)は種類に応じたEvent名が割り振られています
一例(他にも多数あります):

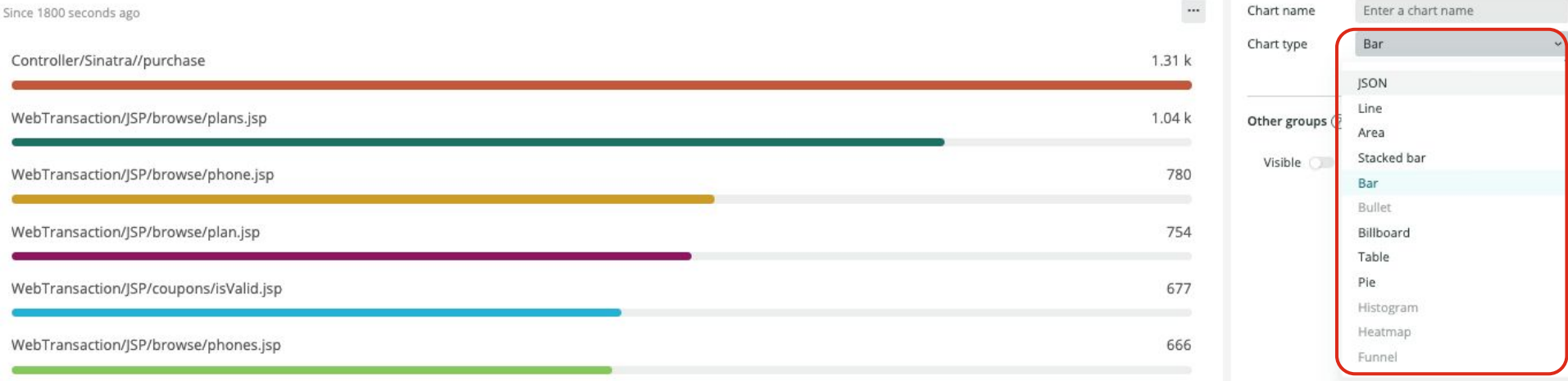
データソース	Event名	データの種類
APM	Transaction	トランザクションの所要時間を記録
	TransactionError	アプリで発生したエラーを記録
Infrastructure(エージェント)	SystemSample	OS全体のメトリックを記録
	StorageSample	ファイルシステムごとのメトリックを記録
Infrastructure(クラウド連携)	ComputeSample	計算リソースを提供するサービスのメトリックを記録 (AWS EC2等)
	DatastoreSample	ストレージキャパシティを提供するサービスのメトリックを記録(AWS S3等)

参考:

<https://docs.newrelic.co.jp/docs/insights/insights-data-sources/default-data/insights-default-data-other-new-relic-products>

③データのビジュアライズ

加工したデータを様々なチャートタイプで表示



さらに高度なビジュアライズも

Reactを使ってリッチなダッシュボードを自分でカスタマイズすることもできます

一部のダッシュボードはオープンソースとして公開しており、自由に利用できます

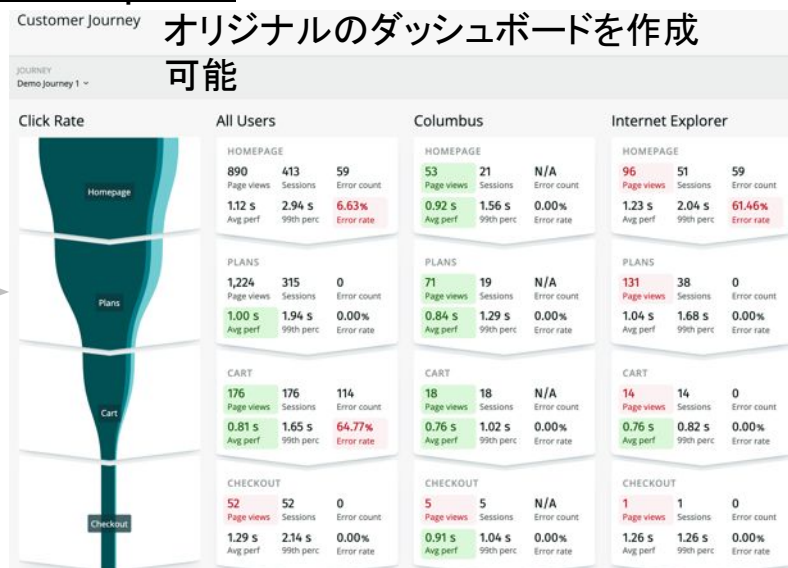
<https://developer.newrelic.com/open-source/nerdpacks>

環境をセッティングして開発

Quick start

1. Get your API key
Select or create an API ▼
2. Install the NR1 CLI Mac Linux Windows
[Download installer](#)
3. Run this command to ensure everything is up and running
`nr1 --version`
4. Save your credentials
`nr1 profiles:add --name [account-slug] --api-key [api-key] --region [us|eu]`
5. Create your package
`nr1 create --type nerdpack --name my-awesome-nerdpack`
6. Start developing
`cd my-awesome-nerdpack && nr1 nerdpack:serve`

オリジナルのダッシュボードを作成可能



アラート機能

Eventデータを使ってしきい値(動的/静的)を設定し、アラートを発報することが可能

1. Categorize

APM - Application metric

2. Select entities

1 entity

3. Define thresholds

TomcatApp

When target application

Response time (web) has an average above

0.001 sec at least once in 5 minutes

+ Add a warning threshold

Condition name

Response time (web) (High)

+ Add runbook URL

< Back to Select entities

Create condition

アラートの通知と確認

メールやSlack, モバイルアプリ等で
アラートを受信
(下はSlackの例)

Incident #83551393 opened

Target

SystemSample query

Condition

NRQLテスト

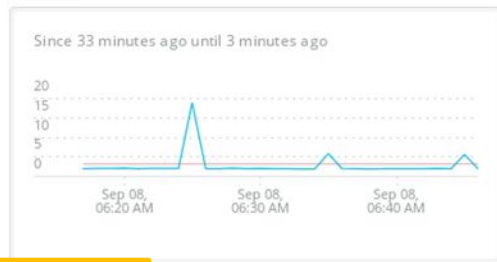
Policy

Tomtest

Threshold

SystemSample query result is > 3

(8 kB) ▾



[View Incident](#)

[NRQL Overview](#)

アラートへのリ
ンク

アラートの詳細を New Relic 上で確認

Plan Service violated Check response time for web portal

3:16 am OPENED 3:31 am CLOSED 15m DURATION CRITICAL SEVERITY App metric CONDITION TYPE

同時に変化のあったメトリックを
表示



[View application in service maps](#)



Web response time > 600 milliseconds for at least 10 minutes
THRESHOLD

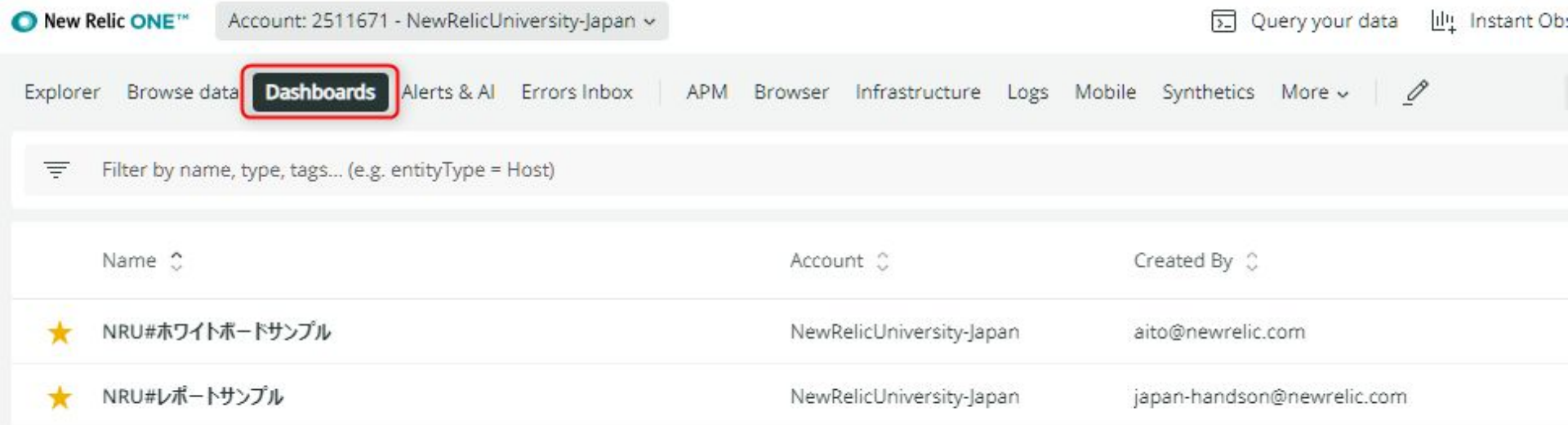
ハンズオン(3)

アラート設定とアラートの確認

ハンズオン(3)ダッシュボード

[事前準備]

ハンズオン(1)と同じユーザーでNew Relicにログインします。
画面左上の[Dashboards] をクリックします。



New Relic ONE™ Account: 2511671 - NewRelicUniversity-Japan ▾

Query your data Instant Observe

Explorer Browse data **Dashboards** Alerts & AI Errors Inbox APM Browser Infrastructure Logs Mobile Synthetics More ▾

Filter by name, type, tags... (e.g. entityType = Host)

Name ↕	Account ↕	Created By ↕
★ NRU#ホワイトボードサンプル	NewRelicUniversity-Japan	aito@newrelic.com
★ NRU#レポートサンプル	NewRelicUniversity-Japan	japan-handson@newrelic.com

ハンズオン(3)ダッシュボード

1. ダッシュボードの作成

Dashboardsメニューを選択し、右上の "Create a dashboard" を押下して新しいダッシュボードを作成してください。

ダッシュボード名にはご自身のお名前を入れてください (日本語可)。

アカウントの選択メニューでは "**NewRelicUniversity-Japan**" を選択します。

2. 既存チャートの追加

ハンズオン(1)で確認したEC-siteのAPMの画面、およびハンズオン(2)で確認したInfrastructureの画面からそれぞれ1つずつ任意のチャートを、自分のダッシュボードに追加してください。

3. 新規チャートの追加

自分のダッシュボードを表示し、Create ChartからChartを作成して追加します。

ハンズオン(3)アラート

4. アラートの確認

Alertsを開き過去のインシデントを確認します。

5. 通知設定の作成

[Alert Condition(Policies)]を開き[By policy]の設定で新しいAlertPolicyを作成します。

Policy名はダッシュボードと同じように自分の物とわかる名前を付けてください(日本語可)

新たに作成したAlertPolicyにNotification channelを作成します。

メールもしくはSlackを利用し自分用の通知を作成してください。

6. ベースラインアラート

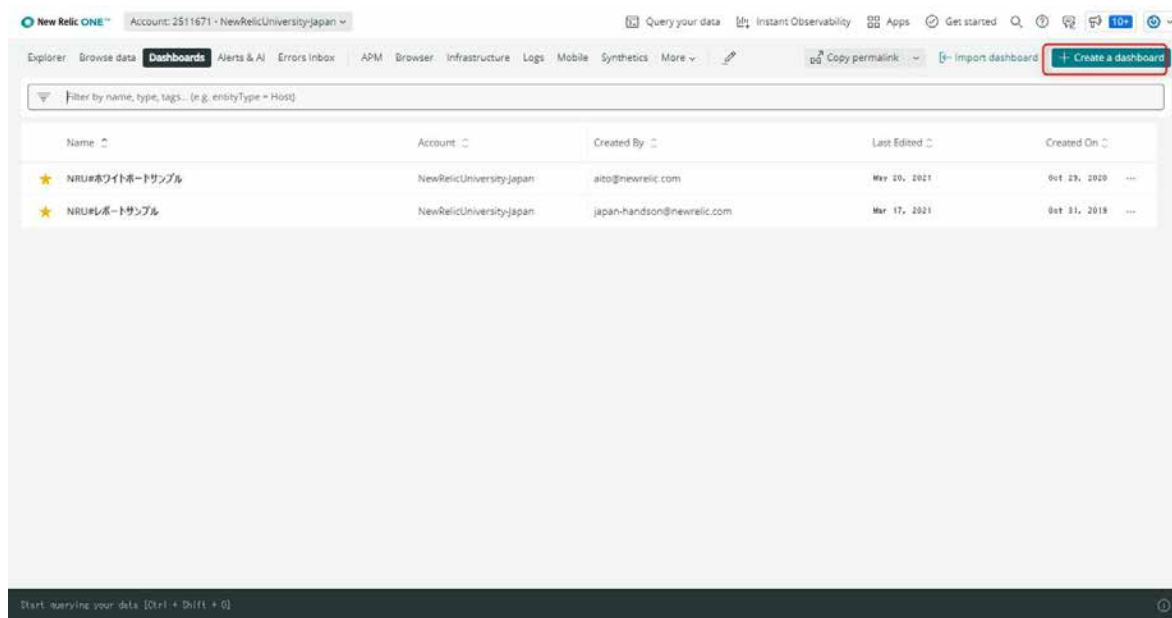
[Alert Condition(Policies)] で自分で作成したPolicyを選択し、[Add condition] からアラート条件の設定画面を開いて、[Application metric baseline] を選択して、ベースラインアラートの感度設定を確認しましょう。

手順・解説

ハンズオン(3)ダッシュボード

1. ダッシュボードの作成

New Relic Oneの”Dashboards”メニューを選択し、右上の”Create a dashboard”を押して新しいダッシュボードを作成してください。



ハンズオン(3)ダッシュボード

1. ダッシュボードの作成

[Browse pre-built dashboards] ではプリセットの Dashboardを展開することができます。
今回は[Create a new dashboard] でDashboardを自作します。

Create a dashboard



Browse pre-built dashboards

Install a quickstart with dashboards made for what you're monitoring.



Create a new dashboard

Build a dashboard from scratch and see what's happening with your data.



ハンズオン(3)ダッシュボード

1. ダッシュボードの作成

ダッシュボード名にはご自身のお名前など、他の参加者と取り違い無い文言を入れてください（日本語可）。

アカウントの選択メニューでは "2511671 NewRelicUniversity-Japan" を選択します。
[Create] をクリックすると空のダッシュボードが作成されます。

Create a dashboard

Dashboard name

ダッシュボード名（社名：氏名など）

Select your account

Account: 2511671 - NewRelicUniversity-Japan ▼

Back

Create

ハンズオン(3)ダッシュボード

2. 既存チャートの追加

ハンズオン(1)で確認したEC-siteのAPMの画面、およびハンズオン(2)で確認したInfrastructureの画面からそれぞれ1つずつ任意のチャートを、自分のダッシュボードに追加してください。

The screenshot shows the New Relic ONE interface. At the top, the account name is 'NewRelicUniversity-Japan'. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: Explorer, Browse data, Dashboards, Alerts & AI, Errors Inbox, APM, Browser, Infrastructure, Lookout, Mobile, Synthetics, and More. The 'Dashboards' item is highlighted with a red box. The 'APM' item is also highlighted with a red box. The main content area displays the 'Last viewed Services - APM (NewRelicUniversity-Japan)' list. This list contains two entries: 'EC-site' and 'webapp'. The 'EC-site' entry is highlighted with a red box. Below the list, there are buttons for 'Add more data' and 'View all Services - APM'.

APM> EC-site をクリックします。

ハンズオン(3)ダッシュボード

2. 既存チャートの追加

ハンズオン(1)で確認したEC-siteのAPMの画面、およびハンズオン(2)で確認したInfrastructureの画面からそれぞれ1つずつ任意のチャートを、自分のダッシュボードに追加してください。



任意のグラフで[...]をクリックし
[Add to dashboard]をクリックします。

ハンズオン(3)ダッシュボード

2. 既存チャートの追加

ハンズオン(1)で確認したEC-siteのAPMの画面、およびハンズオン(2)で確認したInfrastructureの画面からそれぞれ1つずつ任意のチャートを、自分のダッシュボードに追加してください。

Copy to a dashboard

Select a dashboard where you would like to add the widget.

Widget title

Web transactions time

Select an existing dashboard

We excluded dashboards you don't have permission to edit.

🔍 tnasu

Dashboard Name	Account
tnasu-test / tnasu-test	NewReli...

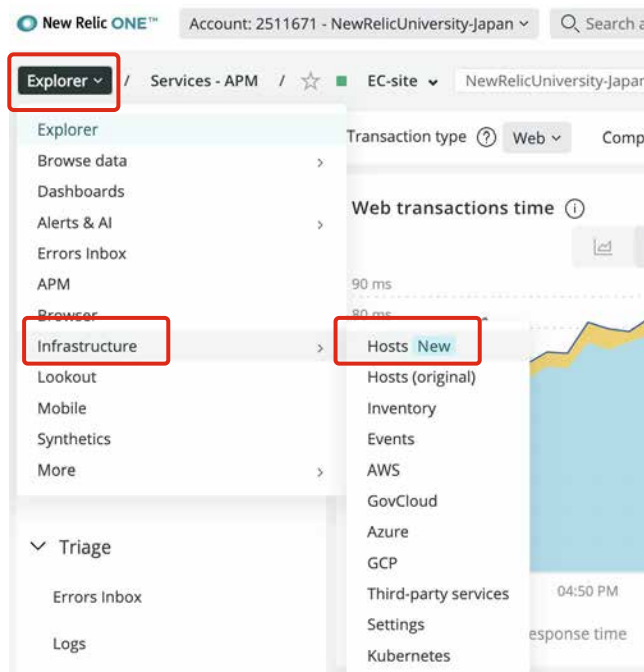
Cancel Copy to dashboard

チャートに名前を付け、自分のダッシュボードを検索して[Copy to dashboard]をクリックします。

ハンズオン(3)ダッシュボード

2. 既存チャートの追加

ハンズオン(1)で確認したEC-siteのAPMの画面、およびハンズオン(2)で確認したInfrastructureの画面からそれぞれ1つずつ任意のチャートを、自分のダッシュボードに追加してください。



Infrastructure> Hosts [New]を選択し
Infrastructureページに移ります。

ハンズオン(3)ダッシュボード

2. 既存チャートの追加

ハンズオン(1)で確認したEC-siteのAPMの画面、およびハンズオン(2)で確認したInfrastructureの画面からそれぞれ1つずつ任意のチャートを、自分のダッシュボードに追加してください。

New Relic ONE Account: 2511671 - NewRelicUniversity-Japan Search across New Relic One

Explorer Browse data Dashboards Alerts & AI Errors Inbox APM Browser Infrastructure Lookout M

entityType = Host x Add more filters

☆ Favorite entities (1)
🕒 Last viewed (5)
📊 All entities (386)
📅 Data gaps

▼ Saved views View all
Save your filters as views, or favorite others, to add them to your navigation.

▼ Your system
🌐 Services - APM (2)

📄 Hosts (1)

Entities
See all the entities reporting in the past 1 hour. You can select up to 25 to co

View selected Reset table

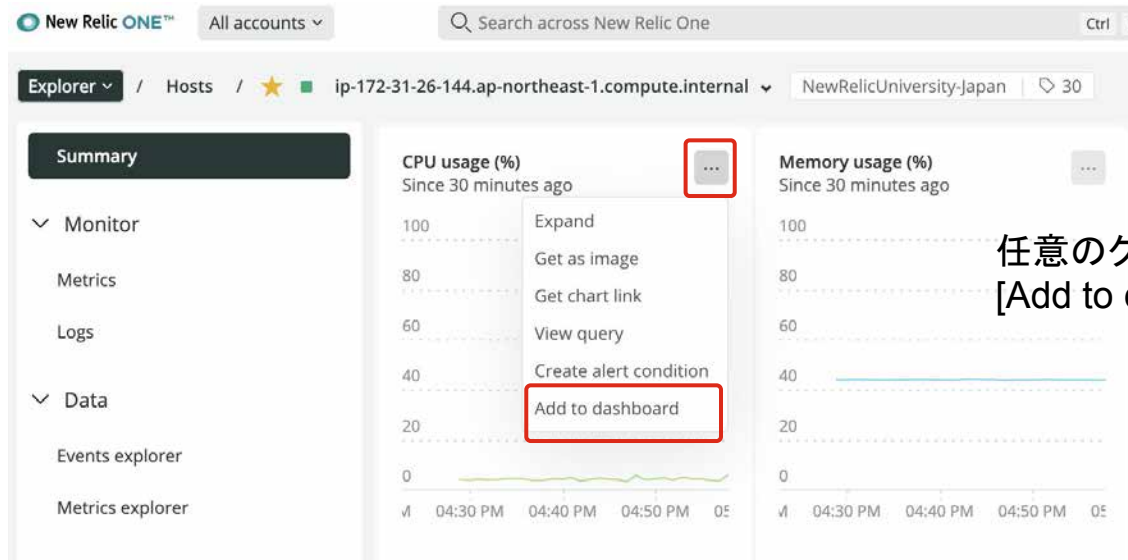
☐	Name ↕	CPU usage (%)	Mem
☐	ip-172-31-26-144.ap-n...	4.53 %	43.89 %

ホスト名をクリックします。

ハンズオン(3)ダッシュボード

2. 既存チャートの追加

ハンズオン(1)で確認したEC-siteのAPMの画面、およびハンズオン(2)で確認したInfrastructureの画面からそれぞれ1つずつ任意のチャートを、自分のダッシュボードに追加してください。



任意のグラフで[...]をクリックし
[Add to dashboard]をクリックします。

ハンズオン(3)ダッシュボード

2. 既存チャートの追加

ハンズオン(1)で確認したEC-siteのAPMの画面、およびハンズオン(2)で確認したInfrastructureの画面からそれぞれ1つずつ任意のチャートを、自分のダッシュボードに追加してください。

Copy to a dashboard

Select a dashboard where you would like to add the widget.

Widget title

CPU usage (%)

Select an existing dashboard

We excluded dashboards you don't have permission to edit.

tnasu

Dashboard Name	Account
tnasu-test / tnasu-test	NewReli...

Cancel Copy to dashboard

チャートに名前を付け、自分のダッシュボードを検索して[Copy to dashboard]をクリックします。

ハンズオン(3)ダッシュボード

3. 新規チャートの追加

自分のダッシュボードを表示し、Create ChartからChartを作成して追加します。

The screenshot shows the New Relic ONE interface. The 'Explorer' menu on the left has 'Dashboards' highlighted with a red box. The main panel displays a list of dashboards under the heading 'Search in 47 dashboards'. The list includes 'NRU#ホワイトボードサンプル' and 'NRU#レポートサンプル' from 'NewRelicUniversity-Japan', and several dashboards from 'New Relic TSS' under the heading 'Last viewed Dashboards'. The dashboard 'tnasu-test' from 'NewRelicUniversity-Japan' is highlighted with a red box at the bottom of the list. The top of the interface shows the 'New Relic ONE' logo, 'All accounts' dropdown, a search bar, and a 'Query your data' button.

Explorers

- Browse data
- Dashboards**
- Alerts & AI
- Errors Inbox
- APM
- Browser
- Infrastructure
- Lookout
- Mobile
- Synthetics
- More

More views

- Add app
- Dependencies

Hosts / ★ ■ ip-172-31-26-144.ap-northeast-1.compute.internal NewRelicUniversity-Japan 30

CPU usage (%) Memory usage (%) Storage usage (%)

Search in 47 dashboards

- ★ NRU#ホワイトボードサンプル NewRelicUniversity-Japan
- ★ NRU#レポートサンプル NewRelicUniversity-Japan

Last viewed Dashboards

- ☆ Etherscan New Relic TSS
- ☆ DY-TEST New Relic TSS
- ☆ EP-SummerGames New Relic TSS
- ☆ handson-test-buku-dashboard New Relic TSS
- ☆ 0222_TK New Relic TSS
- ☆ 20220222_ss_handson New Relic TSS
- ☆ **tnasu-test** NewRelicUniversity-Japan

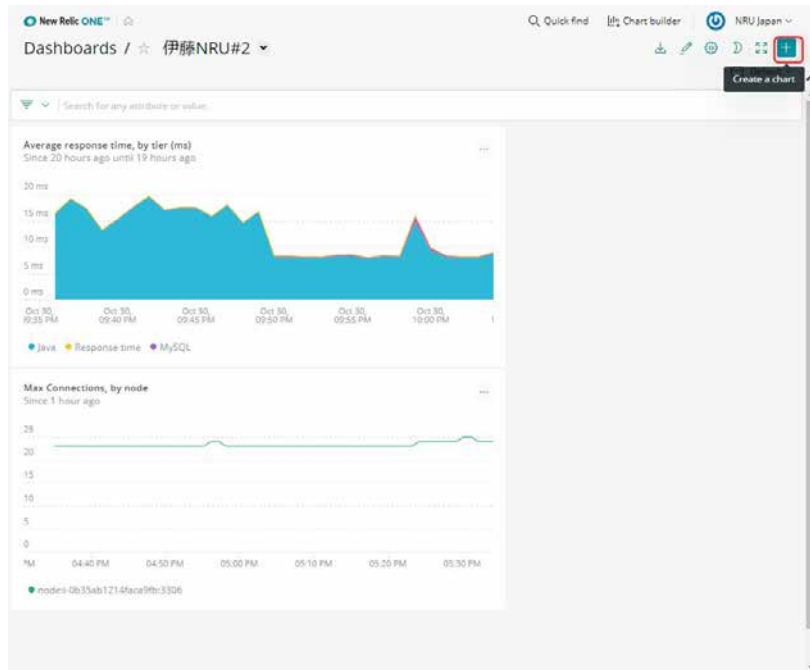
USED %

Dashboards> 自分のダッシュボード名をクリックします。

ハンズオン(3)ダッシュボード

3. 新規チャートの追加

自分のダッシュボードを表示し、Create ChartからChartを作成して追加します。



ダッシュボードを開き [+]アイコンをクリックします。
[Add a chart]を選択してチャートを作成します。

Add to your dashboard

📊 Add a chart

Use the chart builder to see what's happening with your data. >

📄 Add text, images, or links

Add your own content using Markdown. >

クエリビルダーの使い方

データがあるアカウント

チャートに表示したいデータを選択
この例では、TransactionというEventから
durationという属性を選択し、平均値を出す

データの絞り込み (オプション)
例. 特定のアプリのデータのみを表示する

The screenshot shows the New Relic Query Builder interface. Red boxes highlight the following elements:

- Account:** 1606862 - Demotron V2
- Data Type:** Events (selected), Metrics
- View a chart with:** Transaction : duration : average
- Facet by:** name
- Limit:** 10
- Time Range:** Last 30 mins
- Narrow results to:** appName = 'Plan ...rvice'
- Compare:** no comparison
- Clear** button

データのグループ分け (オプション)
例. トランザクション名ごとにデータを分けて表示

表示させるデータ期間

比較のための過去の
データを重ねて表示
(オプション)

参考: Instant Observability

Browse pre-built dashboards を選択することで、New Relicの知見に基づいた Dashboardを一瞬で作成することができます。

Create a dashboard

Browse pre-built dashboards

Install a quickstart with dashboards made for what you're monitoring.



Create a new dashboard

Build a dashboard from scratch and see what's happening with your data.

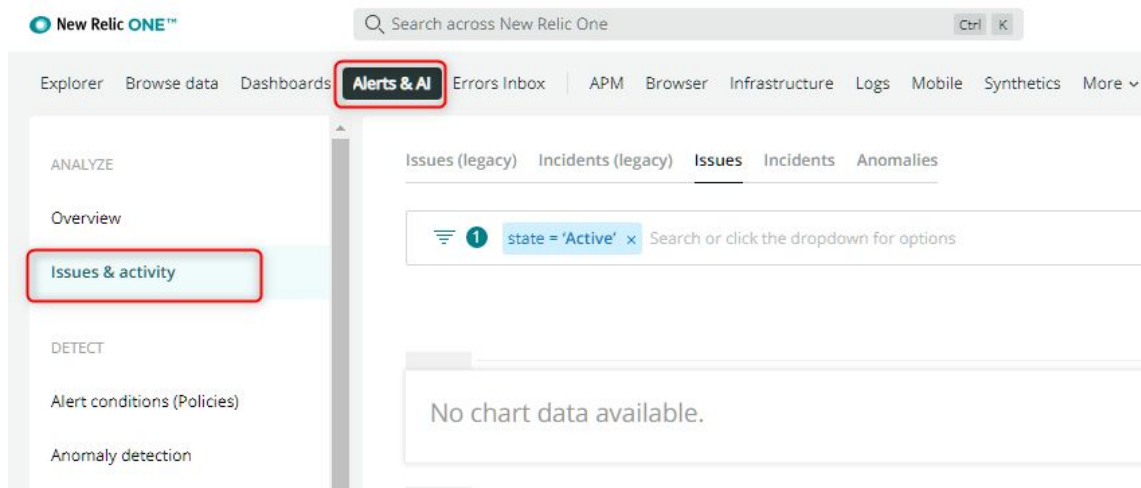


ハンズオン(3)アラート

4. アラートの確認

Alertsを開き過去のインシデントを確認します。

Alert & AI を開き、Issues & Anomalyを開きます。

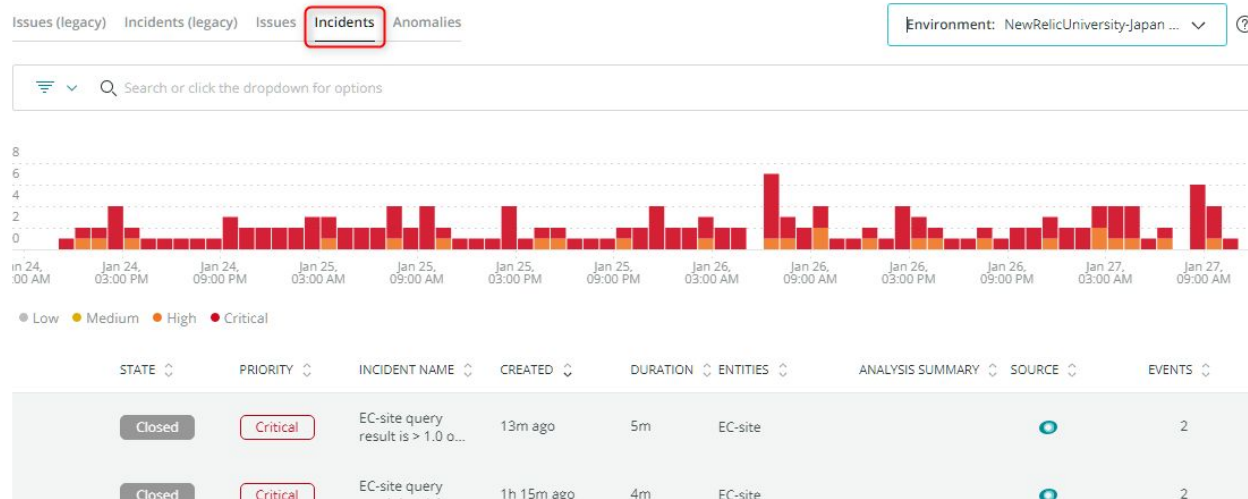


ハンズオン(3)アラート

4. アラートの確認

Alertsを開き過去のインシデントを確認します。

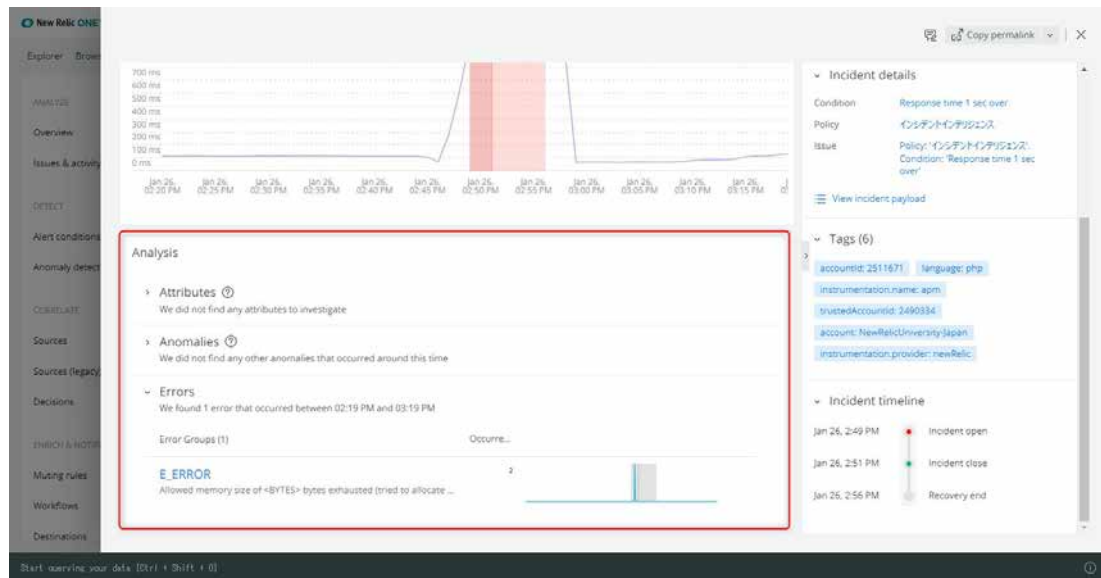
[Incidents] を開きインシデントを確認します。



ハンズオン(3)アラート

4. アラートの確認

Alertsを開き過去のインシデントを確認します。



New Relic Alerts ではインシデントを検知した際に自動的に関連がありそうな情報をAnomalysとして表示します。
※出ない場合もあります。

ハンズオン(3)アラート

5. 通知設定の作成

Alert Condition(Policies) を開き[New alert policy]をクリックします。

The screenshot shows the New Relic ONE interface. The top navigation bar includes the New Relic logo, account information, a search bar, and various tool icons. The left sidebar contains a menu with categories like ANALYZE, DETECT, and CORRELATE. Under the DETECT category, 'Alert conditions (Policies)' is highlighted with a red box. The main content area is titled 'Alerts & AI' and features a search bar for policies, a '+ New alert policy' button (highlighted with a red box), and a 'Browse pre-built alerts' button. Below these is a table listing existing alert policies.

Policy	Conditions	Channels	Open incidents	Last incident
アラートポリシー	2	2	0	Apr 20, '21 11:01 am
インシデントインテリジェンス	1	0	0	Jan 26, 2:52 pm
ダッシュボードハンズオン用アラートポリシー	1	0	0	Jan 26, 2:56 pm

ハンズオン(3)アラート

5. 通知設定の作成

ALERT POLICY NAME にわかり易い名前を入力し、[By policy]を選択します。

Applied Intelligence Account: 2511671 - NewRelicUniversity-Japan

Overview

ALERTS

Incidents

Events

Policies

Notification channels

Muting rules

PROACTIVE DETECTION

Anomaly overview

Configuration

Create alert policy

ALERT POLICY NAME Give your policy a concise and descriptive name.

通知ポリシー

INCIDENT PREFERENCE Specify how incidents should be created when conditions in this alert policy are violated. (I sent only when an incident opens, is acknowledged, and closes.)

☒ **By policy**
All violations **within this policy will be grouped** into a single incident; only one open incident at a time for this alert policy

☐ **By condition**
All violations **within a condition in this policy will be grouped** into a single incident; only one incident at a time per alert condition

☐ **By condition and entity**
An incident will open **every time an entity violates** a condition in this policy

他の参加者と名前がぶつからないように**自分のポリシーとわかる名前**で作成してください。

ハンズオン(3)アラート

5. 通知設定の作成

[Create alert policy]ボタンをクリックして、AlertPolicyを作成します。

NOTIFICATION CHANNELS

To get notified when incidents occur, you need to associate this policy with a notification channel. You can select a channel after you create the policy.

Cancel

Create alert policy

ハンズオン(3)アラート

5. 通知設定の作成

[channels] を選択し[New notification channel]をクリックします。

The screenshot shows the New Relic ONE Alerts & AI interface. The left sidebar contains a menu with the following items: ENRICH & NOTIFY, Muting rules, Workflows, Destinations, Pathways, Incident workflows, Destinations (legacy), SETTINGS, General, General (legacy), ALERTS (CLASSIC), Events, Incidents, and Channels. The 'Channels' item is highlighted with a red box. The main content area displays a table of notification channels. At the top right of this area is a red box containing a plus icon and the text 'New notification channel'. The table has columns for Type, Channel name, Policy subscriptions, and an action icon (trash can). The table contains six rows of data.

Type	Channel name	Policy subscriptions	
EMAIL		0	
SLACK		1	
USER		0	
USER		0	
USER		1	
USER		0	

ハンズオン(3)アラート

5. 通知設定の作成

[Channel Type] で [Email]を選択し自分で受信確認が出来るメールアドレスを設定してください。

Channel details

Select a channel type

Email

Email

japan-handson+0206@newrelic.com

☐ Include JSON attachment

Cancel

Create channel

ハンズオン(3)アラート

5. 通知設定の作成

[Alert Conditions (policies)]で先ほど **自分で作成した** ポリシーを選択します。

The screenshot shows the New Relic ONE web interface. At the top, there's a header with the New Relic ONE logo, the account name 'Account: 2511671 - NewRelicUniversity-Japan', and a search bar. Below the header is a navigation bar with tabs: Explorer, Browse data, Dashboards, Alerts & AI (selected), Errors Inbox, APM, Browser, Infrastructure, Lookout, Mobile, and Synthesis. On the left side, there's a sidebar with sections: ANALYZE (containing Overview and Issues & activity) and DETECT (containing Alert conditions (Policies) and Anomaly detection). The 'Alert conditions (Policies)' item is highlighted with a red box. The main content area shows a search bar 'Search policies' and a list of policies. The first policy is 'tnasu-test', which is also highlighted with a red box. Below it is 'ダッシュボードハンズオン用アラートポリシー'.

ハンズオン(3)アラート

5. 通知設定の作成

[Notification channels]タブを選択します。

[Add notification channels]ボタンをクリックします。

ポリシー作成 Incident preference: By policy Delete this policy

id: 1010195

0 Alert conditions **0 Notification channels** ① Add a notification channel to receive alerts Last modified 4:37 pm by NRU Japan



Add notification channels to this policy

Your channels tell us who to notify when incidents are opened, acknowledged, and closed.

Add notification channels

ハンズオン(3)アラート

5. 通知設定の作成

[Notification channel]タブを選択します。

先ほど登録した自分のメールアドレスに ☒ を付けて[Update policy]をクリックします。

The screenshot shows the New Relic notification channel configuration interface. On the left, a sidebar lists notification channels: Email, HipChat, PagerDuty, and VictorOps. The 'Email' channel is selected and highlighted with a red box. The main panel shows '2 channels selected' and a list of email addresses. The first email address, 'japan-handson+0206@newrelic.com', is selected with a red box. At the bottom right, there are 'Cancel' and 'Update policy' buttons, with the 'Update policy' button highlighted by a red box.

1 channel selected

Browse all

Email

HipChat

PagerDuty

VictorOps

2 channels selected

Browse all > Email

Search channels

Select: Page None Filter: All Selected (1)

☒ japan-handson+0206@newrelic.com

1 - 1 of 1

Cancel Update policy

ハンズオン(3)アラート(オプション)

5. 通知設定の作成(オプション)

Slackの管理権限をお持ちの場合、New RelicアプリをSlackに追加していただく事で、Slack通知が利用できます。



New Relic

アプリ情報 設定

New Relic はウェブや携帯端末のアプリケーションパフォーマンスモニターサービスで、チームはアプリの正常性および可用性を監視することができます。

このインテグレーションは、New Relic 内でアラートがトリガーされた時に Slack に通知を投稿します。ウェブ、トランザクション、サーバー、そして携帯アラートをそれぞれ違うチャンネルに投稿したい時には、別のインテグレーションの設定が必要です。

Slack に追加

ハンズオン(3)アラート(オプション)

5. 通知設定の作成(オプション)

Slackの管理権限をお持ちの場合、New RelicアプリをSlackに追加していただく事で、Slack通知が利用できます。



New Relic Alerts

リアルタイム アプリケーション パフォーマンス管理。

New Relic はウェブや携帯端末のアプリケーションパフォーマンスモニターサービスで、チームはアプリの正常性および可用性を監視することができます。

このインテグレーションは、New Relic 内でアラートがトリガーされた時に Slack に通知を投稿します。ウェブ、トランザクション、サーバー、そして携帯アラートをそれぞれ違うチャンネルに投稿したい時には、別のインテグレーションの設定が必要です。

 このインテグレーションを追加できるのは、チームの New Relic アカウントの管理者のみです。

チャンネルへの投稿

まず New Relic アラートを投稿するチャンネルを選択します。

new-relic-通知

✔ 新しいチャンネルが作成されました

New Relic インテグレーションの追加

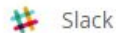
ハンズオン(3)アラート(オプション)

5. 通知設定の作成(オプション)

Slackの管理権限をお持ちの場合、New RelicアプリをSlackに追加していただく事で、Slack通知が利用できます。

アプリで生成した[Webhook URL]をchannel 設定に入力してください。

Select a channel type



Slack

Webhook URL

このインテグレーションを設定する場合には、この URL を New Relic Alerts にペーストします。

[セットアップの手順を表示](#)

https://hooks.slack.com/services/

[Copy URL](#) • [再生成する](#)

Channel name

NRU-Slack

URL

https://hooks.slack.com/services/

Team channel (optional)

#new-relic-通知

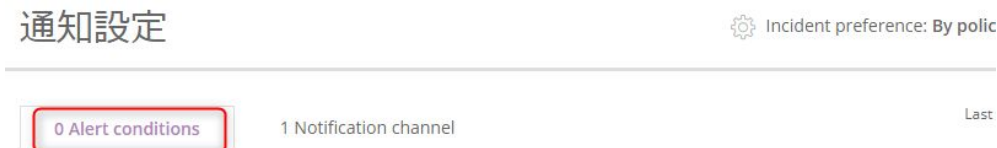
Cancel

Create channel

ハンズオン(3)アラート

6. ベースラインアラート

[Alert Condition(Policies)] で先ほど作成した AlertPolicy を選択し [Alert conditions] タブを選択し Create a condition ボタンをクリックします。



This policy doesn't have any conditions

Alert conditions are the criteria for creating incidents.

Notifications are sent when incidents are created.

Create a condition

ハンズオン(3)アラート

6. ベースラインアラート

[Application metric baseline] を選択して、ベースラインアラートの感度設定を確認しましょう。

New condition

ⓧ Cancel

1. Categorize

Select a product

1

NRQL

APM

Browser

Mobile

Synthetics

Infrastructure

Ⓜ APM Alerts can now be created using NRQL conditions. [Learn more](#)

Select a type of condition

Application metric

JVM health metric

Key transaction metric

Web transactions percentiles

External service

2

Application metric baseline

3

Next, select entities

APM>Application metric baseline を
選択し Nextをクリックします。

ハンズオン(3)アラート

6. ベースラインアラート

[Application metric baseline] を選択して、ベースラインアラートの感度設定を確認しましょう。

2. 1 entity selected

Select: All (2) None

View: All (2) Selected (1) Unselected (1)

☒	EC-site
☐	PHP Application

◀ Back to Name and Categorize

Next, define thresholds

アプリケーションを選択して Nextをクリックします。

ハンズオン(3)アラート

6. ベースラインアラート

[Application metric baseline] を選択して、ベースラインアラートの感度設定を確認しましょう。

New condition Cancel

1. Categorize APM - Application metric baseline

2. Select entities 1 entity

3. Define thresholds

Baseline Direction: New Upper and lower

When any target application Search metric names...

Datastore/statement/MySQL

has an average value minutes

call count deviates from more violations

Add a warning threshold

Condition Name Search metric names...

Key metrics

- Web transaction time
- Web transaction throughput
- Transaction database time
- Web transaction external service time
- Non-web transaction time
- Web transaction database time
- Non-web transaction database time

Custom metric

Search metric names...

PHP Application Last 2 days

0 critical violations

0.004
0.003
0.002
0.001
0
-0.001

Oct 30, 12:00 AM Oct 30, 12:00 PM Oct 31, 12:00 AM Oct 31, 12:00 PM

Search metric names... Average search metric names...

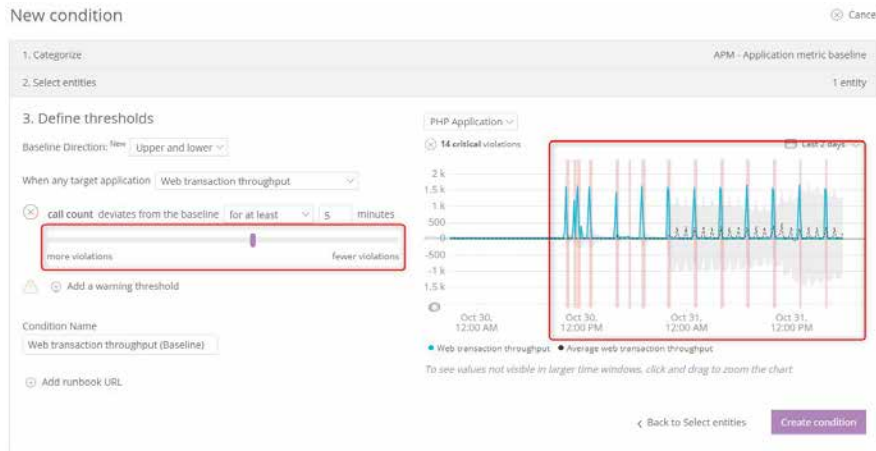
To see values not visible in larger time windows, click and drag to zoom the chart

評価対象とするメトリクスを選択します。

ハンズオン(3)アラート

6. ベースラインアラート

[Application metric baseline] を選択して、ベースラインアラートの感度設定を確認しましょう。



スライダを左右に動かす事でベースラインの広さが変化します。
実際のグラフを見ながらどの程度の外れた場合に通知が必要なのかを検討してください。

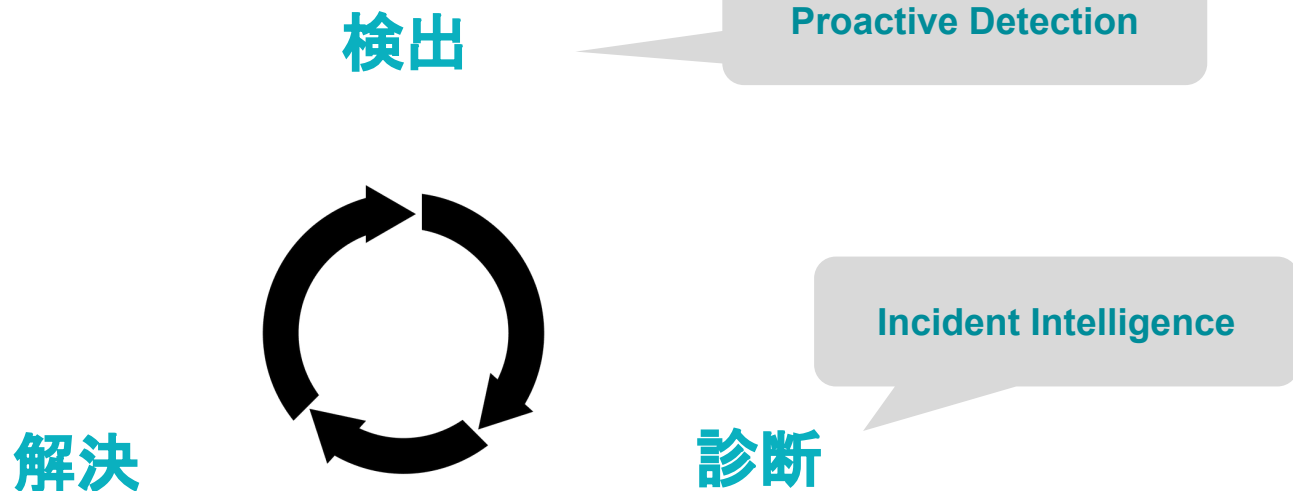
ハンズオン(3)アラート

6. ベースラインアラート

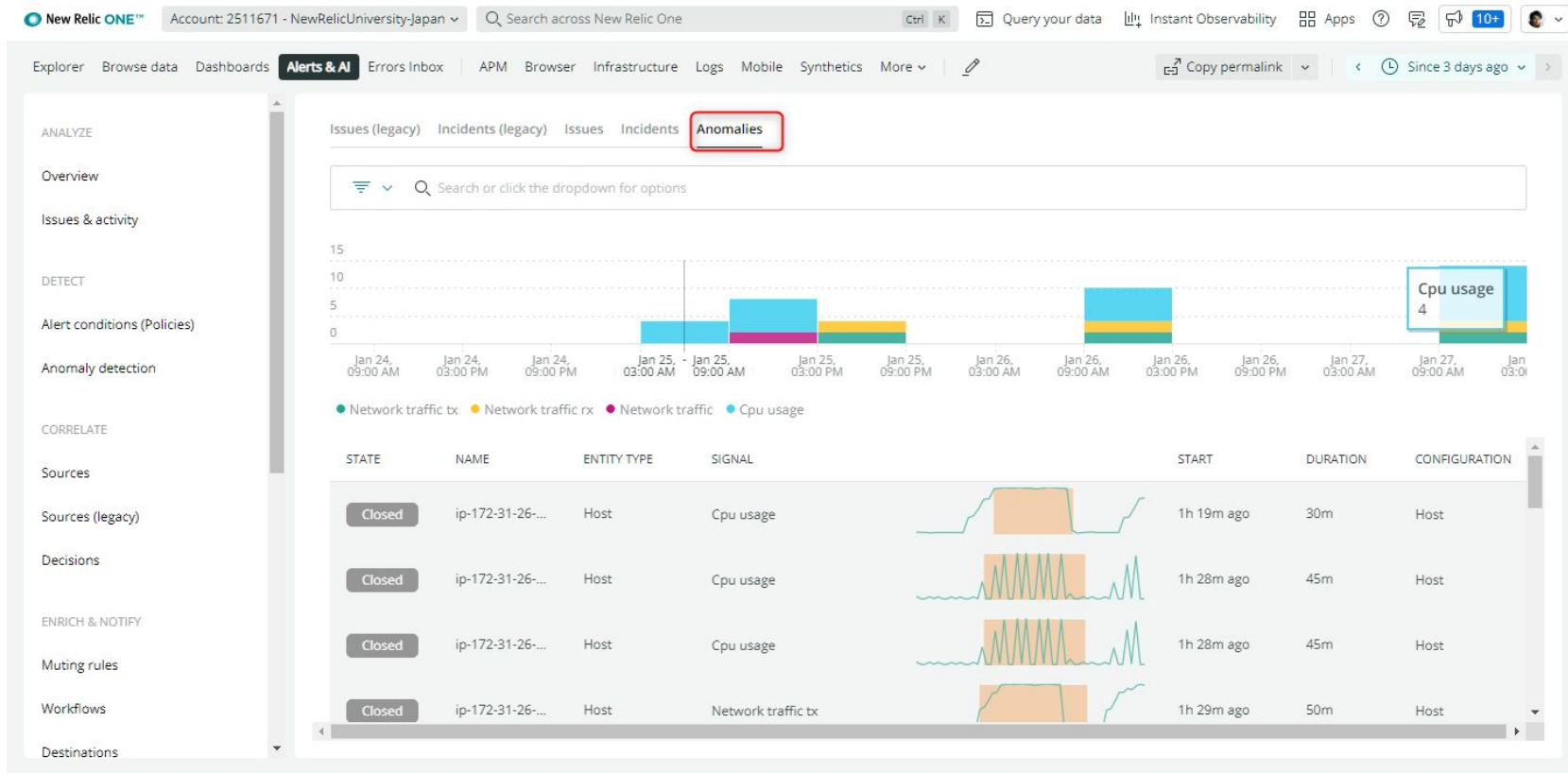
ベースラインアラートを利用することで、あらかじめ閾値を決められない未知の障害兆候に対して、普段の挙動とは異なる変動を検知し、潜在的な障害の可能性に対して未然に対処することが可能となります。

これまでの固定された閾値による監視とベースライン監視を組み合わせ、サービスが止まる前に対処が出来る運用が可能となります。

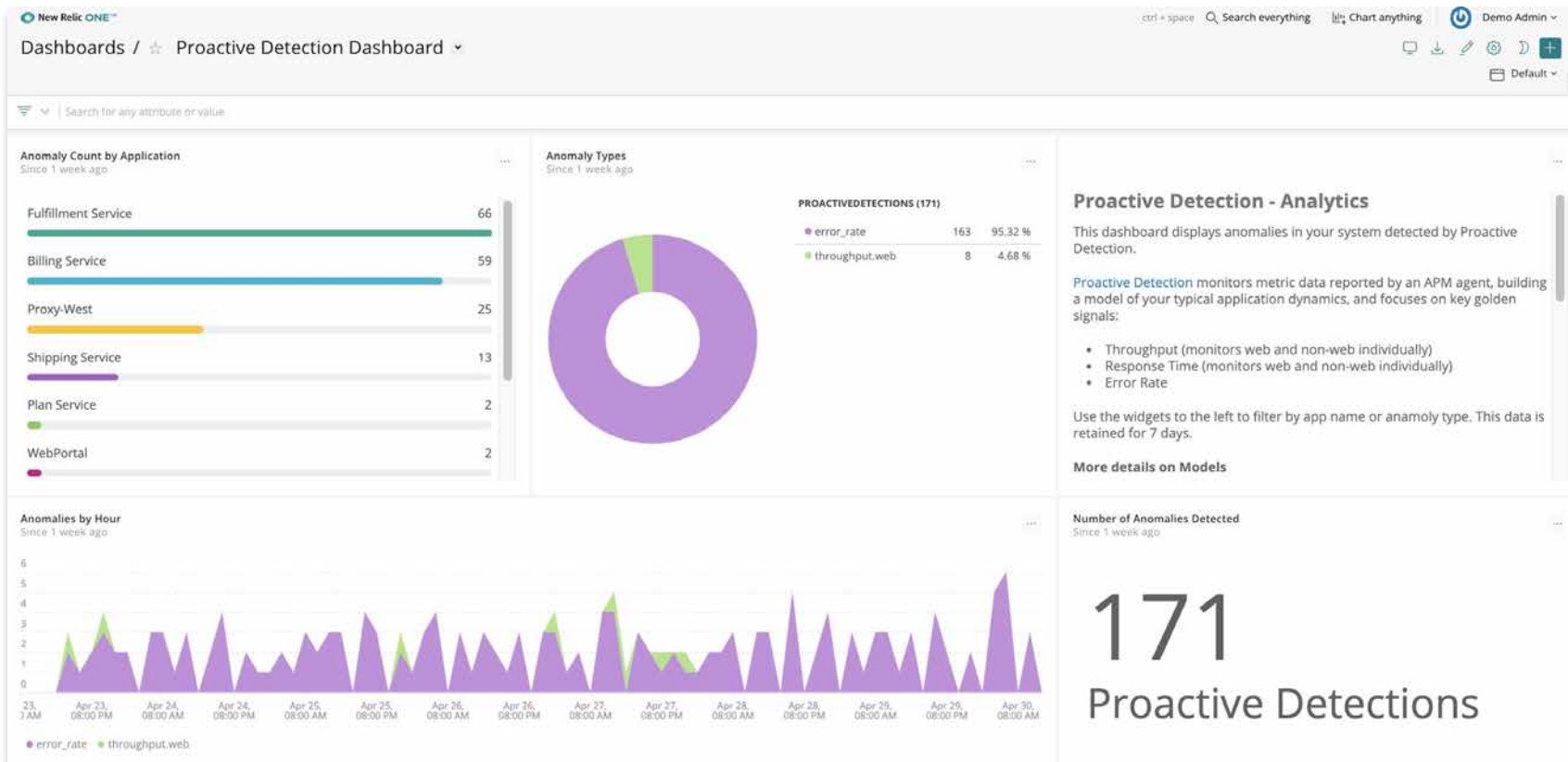
New Relic AI (Applied Intelligence)



Proactive Detection



Proactive Detection Dashboard



Proactive Detection

様々な既存ツールから
アラートをインプット

New Relic AIがアラートの相
関を分析、ノイズを削減

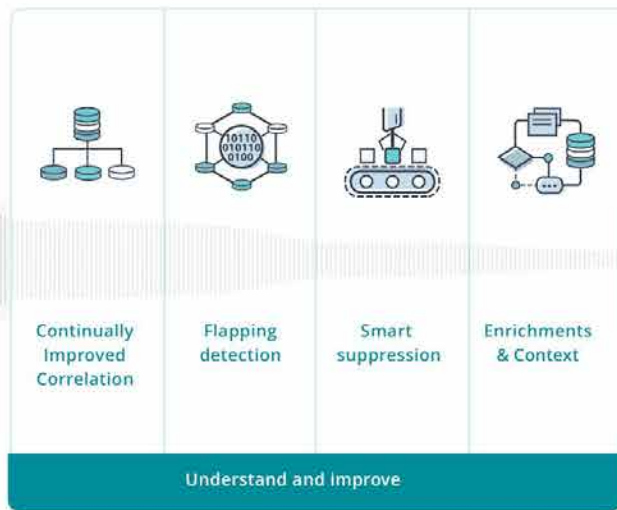
既存ツールへ連携・通知

SOURCES

CONNECT



APPLIED INTELLIGENCE



DESTINATIONS

MANAGEMENT / ACTIONS

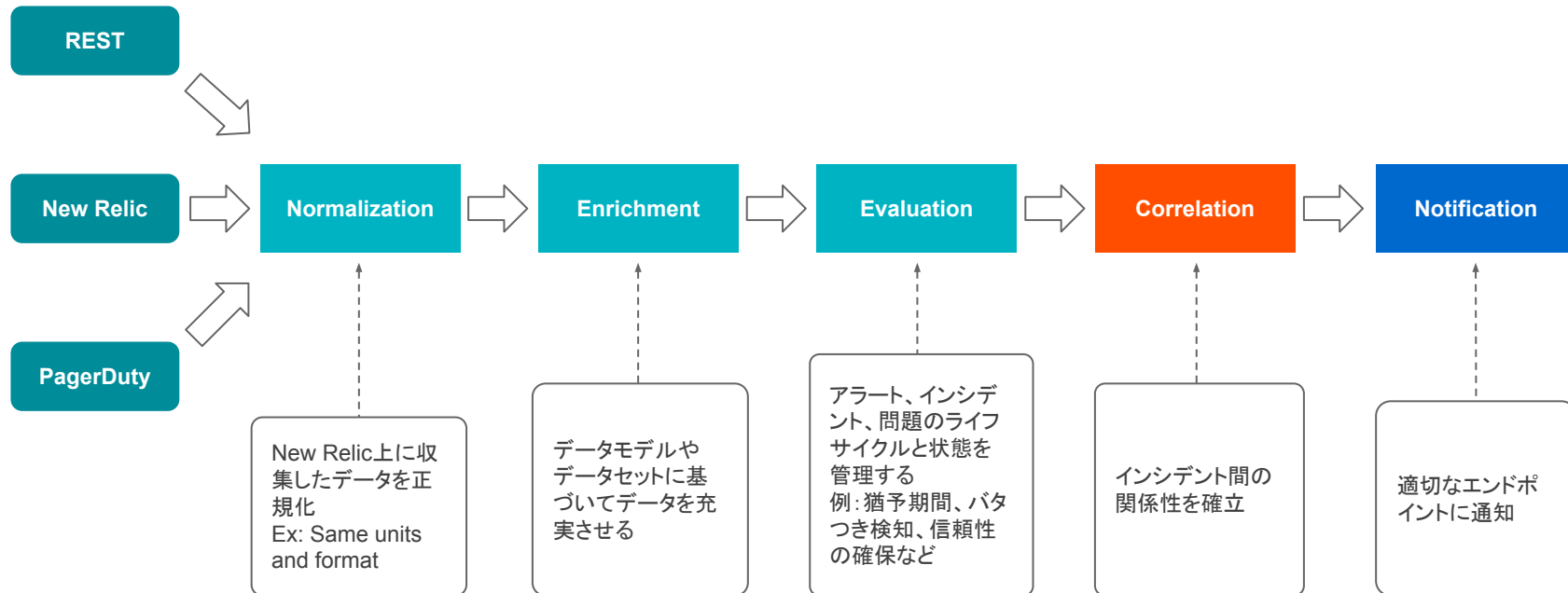


Proactive Detection

様々な既存ツールから
アラートをインプット

New Relic AIがアラートの相
関を分析、ノイズを削減

既存ツールへ連携・通知



ぜひNew Relicをお試ください！

弊社サイトからサインアップ

<https://newrelic.com/signup>

With your new account, you get:

Perpetually free access

100 GB/month of free data ingest. 1 free full access user.
Unlimited free basic users.

One data platform for all metrics, logs, events, and traces
Petabyte scale. Millisecond speed. Pennies per gigabyte
(beyond free tier).

Easily visualize, analyze & troubleshoot your entire stack
APM, Infrastructure Monitoring, Digital Experience
Monitoring, Applied Intelligence, and more.



Free access to all of New Relic. Forever.

No credit card required.

NAME

e.g. Katherine Johnson

EMAIL

name@company.com

By signing up, you're agreeing to [Terms of Service](#) and [Services Privacy Notice](#).

Sign up

Have an account? [Log in](#)



NRU GUIDE

Learning Observability for more perfect software with New Relic One.

Name Here

Role Here



Learning Path

Install	NRU 100	NRU 200	NRU 300	NRU 400
インストールガイド New Relic One へのサインアップやエージェントインストールの方法などのガイドを提供 APM / Browser / Infrastructure / Logs / Mobile (iOS/Android) / AWS統合 / Azure統合 / GCP統合 インストール手順	基本知識オンデマンドセミナー New Relic One やオブザーバビリティに関する基礎知識を座学にて学習 NRU Practitioner オブザーバビリティ入門 NRU 101 New Relic One 入門	New Relic One 機能解説動画 New Relic One に含まれる3つの主要機能に含まれる54の機能群を動画で説明 NRU201 Telemetry Data Platform NRU202 Full Stack Observability NRU203 Applied Intelligence	ハンズオントレーニング (エンジニア向け) New Relic One を実際に操作し、主要機能を利用できる状態にするためのトレーニング NRU 301 アプリケーションとインフラ性能観測の基本 NRU 302 ダッシュボード開発とNRQLの基本 NRU 303 SLI/SLO設計の基本 NRU 304 AIOps とアラート設計の基本	ハンズオントレーニング (開発者向け) New Relic One の開発者向け機能を利用できる状態にするためのトレーニング NRU 401 CodeStream による DevOps を想定したエラー分析対応の基本
▶インストールガイド https://newrelic.com/jp/blog/how-to-relic/new-relic-faststep-guide	▶オンデマンドセミナー (ページ作成中)	▶主要機能解説動画 https://newrelic.com/jp/resources/data-sheets/nru201	▶開催スケジュール https://newrelic.com/jp/events	▶開催スケジュール https://newrelic.com/jp/events

New Relic 実践入門

NRU 無償提供

New Relic の基本を理解できる 330 ページにわたる技術書籍。オブザーバビリティの基本から New Relic One の基本機能、さらには 16 のオブザーバビリティ実装パターンまで含めた、初心者から応用を理解したい上級者まで対象にした New Relic のパーフェクトガイドブック。

無償提供希望はこちらの [Google Form](#) から



NRUG

ぬるぐで学ぶ

New Relic User Group

New Relic ユーザーが集い、実践事例や最新機能紹介などを実施。初心者支部や SRE 支部などが形成されており、エンジニア同士でのネットワーキングや信頼性の高い情報交換が可能。

参加方法はお近くの New Relic 社員まで

Isao Shimizu

SRE Lead

Tsuyoshi Wakamatsu

Infrastructure Lead

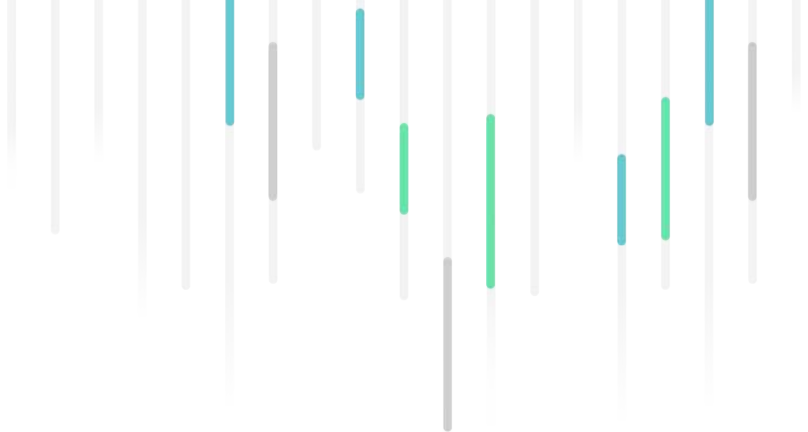
Akiko Itatani

SRE Lead

Rin Miyagawa

SRE





Thank You

tnasu@newrelic.com • [@nasutakashii](https://twitter.com/nasutakashii)